

P R O G R A M



IFI '95 NAGOYA

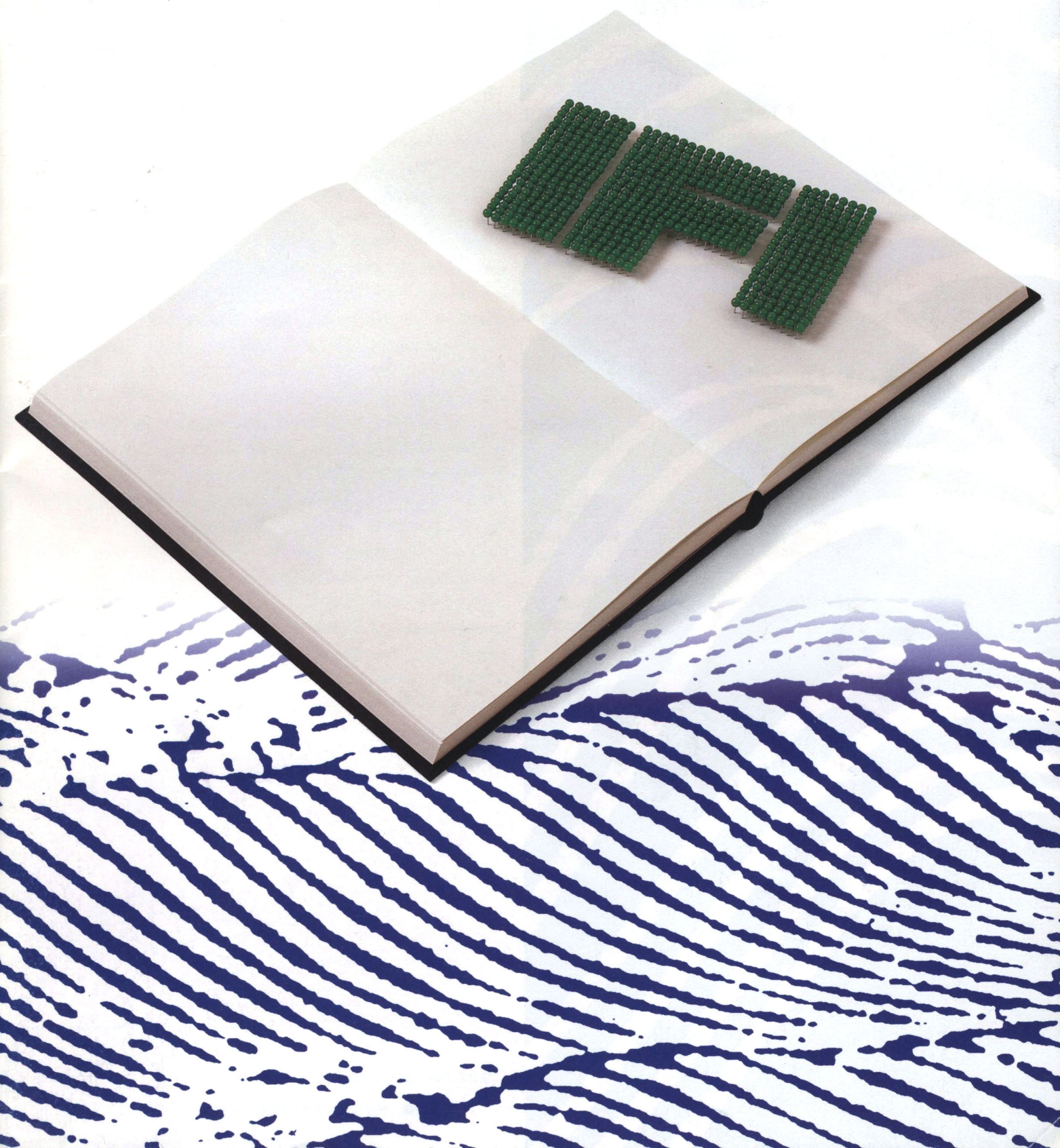
IFI '95 NAGOYA

17TH IFI GENERAL ASSEMBLY AND BIENNIAL WORLD CONGRESS NAGOYA 1995

INTERIORS : NEXT WAVE

世界インテリアデザイン会議

インテリア—新しいうねりの創造





京からかみ文様「光琳大波」(部分)／協力：唐長

※表紙：京からかみ文様「荒磯」(部分)

IFI '95 NAGOYA

世界インテリアデザイン会議

インテリア—新しいうねりの創造

会議=1995年10月4日(水)—6日(金)

国際インテリアデザインフェア=1995年10月4日(水)—8日(日)

名古屋国際会議場

17TH IFI GENERAL ASSEMBLY AND BIENNIAL WORLD CONGRESS NAGOYA 1995

INTERIORS : NEXT WAVE

Congress: 4-6 October 1995

International Interior Design Fair: 4-8 October 1995

Venue: Nagoya Congress Center

- 主催

世界インテリアデザイン会議運営会

(構成団体)

社団法人 日本インテリアデザイナー協会

財団法人 日本産業デザイン振興会

財団法人 国際デザイン交流協会

愛知県

名古屋市

名古屋商工会議所

社団法人 中部経済連合会

株式会社 国際デザインセンター

- 後援

通商産業省

中小企業庁

林野庁名古屋営林支局

日本商工会議所

財団法人名古屋輸入博記念財団

愛知県教育委員会

名古屋市教育委員会

- Organized by:

IFI '95 NAGOYA EXECUTIVE COMMITTEE

Members:

JAPAN INTERIOR DESIGNERS' ASSOCIATION

JAPAN INDUSTRIAL DESIGN PROMOTION ORGANIZATION

JAPAN DESIGN FOUNDATION

AICHI PREFECTURAL GOVERNMENT

CITY OF NAGOYA

NAGOYA CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY

CHUBU ECONOMIC FEDERATION

INTERNATIONAL DESIGN CENTER NAGOYA INC.

- Supported by

MINISTRY OF INTERNATIONAL TRADE AND INDUSTRY

SMALL AND MEDIUM ENTERPRISE AGENCY

FORESTRY AGENCY NAGOYA REGIONAL FOREST BRANCH OFFICE

THE JAPAN CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY

NAGOYA IMPORT FAIR MEMORIAL FOUNDATION

AICHI PREFECTURAL BOARD OF EDUCATION

NAGOYA CITY BOARD OF EDUCATION

世界インテリアデザイン会議運営会 会長
名古屋商工会議所 会頭 谷口清太郎



Seitaro Taniguchi
Chairman
IFI '95 NAGOYA Executive Committee
Chairman, Nagoya Chamber of
Commerce and Industry

このたび、世界各国からインテリアデザインに関する専門家の皆様をお迎えし、「世界インテリアデザイン会議(IFI '95 NAGOYA)」が開催される運びとなりました。

1989年10月に「かたちの新風景—情報化時代のデザイン」をテーマに「世界デザイン会議(ICSID '89 NAGOYA)」が開催されて以来、名古屋はデザイン都市を標榜し、その核となる国際デザインセンターも1996年秋のオープンをめざし、建設が進められております。

このように、デザインマインド溢れる都市として発展を続けているこの名古屋において、再びデザインに関する権威ある国際会議が開催されますことは、大変名誉なことであり、またこの上ない喜びであります。

ご高承のように、世界インテリアデザイン会議は、インテリアデザイナーの唯一の国際団体である国際インテリアデザイナー団体連合が行う会議として世界の主要都市で2年ごとに行われ、発足以来初めてアジアで開催されるものであります。

21世紀を間近に控え、人々のライフスタイルや社会システムが変化していく世界的潮流のなかで、この会議を通じて名古屋から、そして日本から世界に向けて、21世紀のインテリアデザインの役割についてメッセージを発することは、インテリアデザインに新たな時代を画するものであると存じます。

どうか本会議がインテリアデザインに新たな波を起こす、実り多い会議でありますよう願いたしますとともに、内外から名古屋に集われる皆様方には、名古屋の美しい秋も十分にご堪能頂きたいと存じます。

最後に、本会議の開催にあたりまして、多くの方々からご支援、ご協力をいただきありがとうございましたことを、ここに厚くお礼を申し上げます。

I am both pleased and honored that many experts in interior design from around the world will be coming to Nagoya—a city renowned as a thriving center of design—for IFI '95 Nagoya in October 1995. Six years ago, ICSID '89 Nagoya was held here under the theme “A New Landscape for Form—Design in the Information Age”. Since then, Nagoya has advocated “design-conscious city”, and the International Design Center, serving as a core of this initiative is under construction aiming at opening in fall 1996. It is indeed significant that Nagoya has again been chosen to host a prominent international design congress.

As you know, the IFI Congress is a biennial world conference sponsored by the International Federation of Interior Designers/Interior Architects, the only international organization for interior designers.

Although the congress has to date been held in several major cities around the world, IFI '95 Nagoya marks the first time the congress is to be convened in Asia.

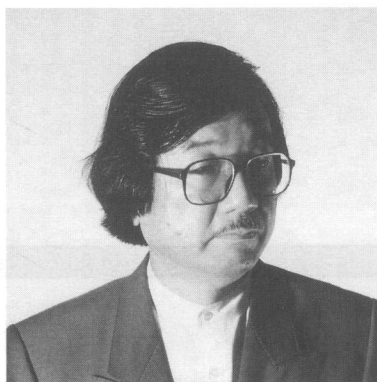
Recently, major changes have begun to affect our lifestyles and social systems. Amidst this global wave of change, the upcoming congress in Nagoya will likely contribute to the formation of new perspectives on, and possibly new roles for, interior design in the 21st century.

As the congress participants gather to enjoy the lovely autumn sights in Nagoya, I am confident that their enthusiasm will spark a new wave of creativity in the field of interior design.

In closing, I would like to express my deep appreciation to the many devoted individuals whose support and dedication are helping to make IFI '95 Nagoya a reality.

S. Taniguchi

世界インテリアデザイン会議 実行委員長
 (社)日本インテリアデザイナー協会 理事長
 長 岡 貞 夫



Sadao Nagaoka
 Chairman, Organizing Committee,
 IFI '95 NAGOYA
 Chairman, Japan Interior Designers'
 Association

1991年6月のIFIシカゴ総会においてIFI '95 NAGOYAの開催が決定されて以来、4年余の準備期間を経て、ここによく開催の日を迎えることができました。

この間、日本国内においては経済の状態が大きく変わり、また、阪神大震災など大きな惨禍もありました。このようななか、私たち実行委員会では、21世紀に向けて、インテリアデザインの新たな役割を模索しつつ会議の準備をしておりました。

いま世界は、あらゆる分野で新しいルールづくりが求められている混沌とした状況に直面しているといえましょう。このような時期に、〈インテリア-新しいうねり創造〉をメインテーマに、世界各国のインテリアデザイナー、建築家など広範な人々が参加して、インテリアデザインを透視しながら、環境、高齢化、マルチメディアなど今日の課題と、地域の伝統といった切り口で、クロスオーバーなシンポジウムが行われることは、まことに時宜を得たものと考えております。

特に、今回はアジアで初めての会議でもあり、パネリストにはアジア7ヶ国を始め多くの国から参加いただき、国際会議にふさわしいグローバルで多面的な討議が行われます。私どももいたしましても、会議において、テーマに沿った創造的な問題提起が十分反映できる会議プログラムを用意することに努めてまいりました。

さらに、会議全体を通じ交流プログラムや展示プログラムの充実を図り、インテリアデザインによる生活環境の改善と安全で快適な空間の創造、デザインの啓蒙・普及、デザイナーの質の向上と職能の確立、デザイン教育など、インテリアデザインに関わる各国共通の問題について国内外の参加者との積極的な情報交換ができる場を用意いたしました。

この会議が、デザイン界はもとより、参加される各界の方々の方々のキャリアに対して十分貢献するとともに、今後の皆様の活動に意義あるものになることを切に願っております。

最後に、会議開催にあたりまして、多くの方々の絶大なるご支援、ご協力に対し心からお礼を申し上げます。

It gives me very great pleasure today to witness the opening of IFI '95 NAGOYA. Throughout the four years since the 1991 IFI General Assembly in Chicago selected Nagoya as the site of the 1995 IFI Congress, we have worked hard to ensure the success of this important event.

During this period Japan suffered the tragedy of the Great Hanshin Earthquake and the country's economy underwent substantial changes.

Despite these developments, we continued to prepare for the congress while seeking new roles for interior design in the coming century.

Many believe that world has entered a transitional period in which new rules are being adopted in almost every field of human endeavor. This congress, with its theme, "INTERIORS : NEXT WAVE" and its multidisciplinary perspective, is therefore both timely and significant. It has attracted many participants from around the world, including interior designers, architects, and others from related fields, to discuss such diverse topics as the environment, the graying population, multimedia, and other contemporary issues as they relate to interior design, with special reference to regional cultures and traditions.

This is the first such congress to be held in Asia, and we are particularly pleased to welcome many panelists from abroad, including seven Asian countries. This promises to be a truly international congress encompassing both global and multilateral discussions.

We trust that we have succeeded in preparing a program that fully examines the creative challenges faced by all participants.

The program is also intended to promote exchanges and exhibitions as well as facilitate the sharing of information on common issues related to interior design, such as improvement of the living environment through interior design and creation of comfortable and safe living spaces. The congress will also examine ways to heighten public awareness of design, improve the skills of designers, enhance their job security, and improve design education.

I am confident that this congress will help to advance the careers of all participants by imparting knowledge and insights of benefit to all in our future endeavors.

Finally, I would like to express my deep appreciation to those whose kind support and cooperation made this congress possible.

■10月3日[火]

10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
								18:00	前夜祭[P-1]	20:00

- 前夜祭 ———— 18:00～20:00 ———— [P-1]
[オアシス広場]

■10月4日[水]

10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	
10:00	開会式・基調講演[A-1]		12:00	13:30	分科会[B-1]			17:00			
				分科会[B-2] 15:00		分科会[B-3] 15:30					
				デザインフォーラム[B-4]							
8:30			12:30	バスツアー／産業コース①[S-1]			17:30				
		バスツアー／産業コース②[S-2]					17:00				
9:00	テーブル カット	国際インテリアデザインフェア					17:00				
									18:30	ウェルカムパーティ [P-2]	20:30

- 国際インテリアデザインフェアテーブルカット ———— 9:00
[イベントホール前]
- 開会式 ———— 10:00～10:30 — [A-1]
[センチュリーホール]
- 基調講演 ———— 10:30～12:00 — [A-1]
[センチュリーホール]

「不易流行—乾坤の変」

きめ細やかな自然の観察や人のしぐさのなかに身辺の日本文化が深く根づいています。そうした生活環境のなかに生かされている調和や変化の意味を探り出し、21世紀に向かったインテリアデザインの主題を明確にします。

多田道太郎(日本)／京都大学名誉教授

- 分科会
「風土と住空間」 ———— 13:30～17:00 ———— [B-1]
[国際会議室-3号館3階]

アジア各国の風土に育てられた伝統的な住空間を、生きた生活空間としてビジュアルに展開し、各地域の多様なインテリアの魅力を伝え、また、今後の課題などを意見交換します。

- 出江 寛(日本) — 出江建築事務所代表取締役
チョキアット リキトブンヤルット(タイ)
— モジュールデザインコンサルタントマネージングディレクター
- プレム ナス(インド) — プレムナスアンドアソシエイツ代表
- インワーク オー(韓国) — 京元大学インテリア建築学部教授
- 張 綺曼(中国) — 中央工芸美術学院環境デザイン系主任教授
- 岡島達雄(日本) — 名古屋工業大学工学部教授(コーディネーター)

- 「優しさのある空間」 ———— 13:30～15:00 ———— [B-2]
[232・233号室-2号館3階]

高齢者や身障者達が健常者と等しく豊かな社会生活を送るためには、生活空間全般に十分な配慮があり、かつ、人々にとって美しく楽しいものとして受け入れられるものでなくてはなりません。そうしたデザインの方向性を個々の具体例により検証します。

- オーレ アンダーソン(スウェーデン) — イェーテボリ大学教授
- 吉田紗栄子(日本) — 株アトリエユニ取締役
- 大野美代子(日本) — 葡エムアンドエムデザイン事務所代表取締役(コーディネーター)

「環境の美しさから一開かれたインテリア(自然界・アートの融合)」
 15:30~17:00 [B-3]
 [232・233号室-2号館3階]

21世紀には自然的な要素を内包した空間の質が論議されるでしょう。ここでは、インテリアデザインの概念拡大の第一歩として、自然界との共生、アートとの融合などについて話し合います。

石田秀翠(日本) — 華道石田流家元
 パール H.レイマース(スウェーデン) — 建築家
 清水義次(日本) — 株アフタヌーンソサエティ代表取締役
 森山明子(日本) — 日経デザイン編集長(コーディネーター)

●デザインフォーラム — 13:30~17:00 [B-4]
 [234号室-2号館3階]

「21世紀・デザインの視点」

若いクリエイター達を対象に、より今日的で興味あるテーマを選び、自由な討論を展開します。

マッシモ イオザ ギーニ(イタリア) — 建築家
 加藤和雄(日本) — 加藤和雄/状況空間研究所所長
 野井成正(日本) — 野井成正デザイン事務所代表
 高崎正治(日本) — 株高崎正治都市建築設計事務所代表取締役
 近藤康夫(日本) — 近藤康夫デザイン事務所代表(コーディネーター)

●ウェルカムパーティ — 18:30~20:30 [P-2]
 [名古屋港ポートハウス]
 20ページをご覧ください。

●バスツアー/産業コース — ①12:30~17:30 [S-1]
 ②8:30~17:00 [S-2]
 23ページをご覧ください。

●国際インテリアデザイン フェア — 10:00~17:00
 26・27ページをご覧ください。

10/3 Tue

10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
								18:00	Opening Festival	20:00

- **Opening Festival** — 18:00~20:00 — [P-1]
[Oasis Square]

10/4 Wed

10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	
10:00	Opening Ceremony, Keynote Speech [A-1]		12:00	13:30	Session [B-1]			17:00			
				Session [B-2] 15:00 15:30		Session [B-3]					
				Design Forum [B-4]							
8:30	Bus Tour/Industrial Tour ① [S-1]						18:00	Welcome Party [P-2]			
Bus Tour/Industrial Tour ② [S-2]						17:00					
9:00	Ceremony	International Interior Design Fair							17:00		
10:00											

- **Opening Ceremony (International Interior Design Fair)** — 9:00
[in front of the Event Hall]

- **Opening Ceremony (Congress)** — 10:00~10:30 — [A-1]
[Century Hall]

- **Keynote Speech** — 10:30~12:00 — [A-1]
[Century Hall]

Permanence and Change

Everyday Japanese culture is based on careful observation of nature and human behavior. The meaning of harmony and change in the living environment will be researched and a theme for interior design in the 21st century will be proposed.

Michitaro Tada/Professor Emeritus, Kyoto University-Japan

Sessions

- **Natural Features and Living Spaces** — 13:30~17:00 — [B-1]
[International Conference Room, Building No.3, 3rd floor]

This session will feature visual presentations on living spaces, highlighting the unique natural features of Asia. Attractive aspects of the interiors of various regions will be presented, and the challenges of the coming century will be discussed.

Kan Izue (Japan) — President, Izue Architect & Associate
 Chookiat Likitpunyarut (Thailand) — Managing Director, Modular Design Consultant
 Prem Nath (India) — President, Prem Nath & Associates, Architects & Interior Designers
 In-Wook Oh (Korea) — Prof. Kyungwon University Dept of Interior Architecture
 Yi-Man Zhang (China) — Professor, The Central Academy of Arts & Design
 Tatsuo Okajima (Japan) — Prof. College of Engineering, Nagoya Institute of Technology (Coordinator)

- **Universal Design** — 13:30~15:00 — [B-2]
[Room #232·233, Building No.2, 3rd floor]

Sufficient consideration must be brought to bear, ensuring that older people and people with disabilities should be able to live equally full and enjoyable life. Such innovations should also have their own merits and be acceptable to the general public. Specific examples will be used to suggest the direction of such designs.

Olle Anderson (Sweden) — Professor, Gotenburg University
 Saeko Yoshida (Japan) — Atelier Uni
 Miyoko Ohno (Japan) — M + M Design Office (Coordinator)

**The Beauty of Environment
-Harmony of Design and Arts** — 15:30~17:00 — [B-3]
[Room #232-233, Building No.2, 3rd floor]

In the coming century, quality of space inspired by natural environmental factors will be suggested. In this session, the symbiosis of nature and design, and fusion of art and nature will be discussed as the first step in expanding the concept of interior design.

Shusui Ishida (Japan) — Head Master of Ikebana Ishida School
Per H. Reimers (Sweden) — Senior Adviser Architect SAR
Yoshitsugu Shimizu (Japan) — President, Afternoon Society Inc.
Akiko Moriyama (Japan) — Editor-in-Chief, Nikkei Design
(Coordinator)

● **Design Forum** — 13:30~17:00 — [B-4]
[Room #234, Building No.2, 3rd Floor]

21st Century Viewpoints on Design

This session will cover current themes of interest to younger designers and will encourage a free exchange of ideas.

Massimo Iosa Ghini (Italy) — Architect, Studio Iosa Ghini
Kazuo Kato (Japan) — Head of Office, Kazuo Kato/Contextual
Space Institute
Sigemasa Noi (Japan) — Head, Shigemasa Noi Design Office
Masaharu Takasaki (Japan) — President, Masaharu Takasaki
Architects
Yasuo Kondo (Japan) — President, Yasuo Kondo Design
Office (Coordinator)

● **Welcome Party** — 18:30~20:30 — [P-2]
[Port House, Port of Nagoya]

see page 20

● **Bus Tours: Industrial Tour** — ① 12:30~17:30 — [S-1]
② 8:30~17:00 — [S-2]

see page 23

● **International Interior Design Fair** — 10:00~17:00
see page 26-27

多田道太郎

1924年京都府生まれ。1949年京都大学文学部仏文学科卒。京都大学人文学科研究所教授、明治学院大学教授を経て、武庫川女子大学生活美学研究所所長。フランス文学、日本文学専門。京都大学名誉教授。

**Prof. Michitaro Tada**

Born in Kyoto in 1924. B. A. in Literature, Kyoto Univ., in 1949. Lectured at Kyoto Univ. and Meiji Gakuin Univ. Director, Mukogawa Inst. of Esthetics in Everyday-life. French and Japanese literature major. Professor Emeritus, Kyoto University.

出江 寛

1931年京都府生まれ。1957年立命館大学理工学部土木工学科卒。1959-76年株竹中工務店大阪本店設計部勤務。第16回吉田五十八賞、第1回関西建築家大賞。

**Mr. Kan Izue**

Born in Kyoto in 1931. B. A. in Civil Engineering, Ritsumeikan Univ., 1957. Worked for Takenaka Co. (1959-76). Specializes in architecture. The Isoya Yoshida Prize and the Kansai Architect Prize.

チョキアット・リキトブンヤルット

タイ出身。1992-95年チャロンコーン大学、ラングシット大学にて客員教授。バンコク、ニューヨークでのデザイナー活動。ニューヨークタイムズほかに寄稿。

**Mr. Chookiat Likitpunyarut**

Born in Thailand. Guest instructor, Chulalongkorn Univ. and Ransit Univ. (1992-95) Worked for Interior Research, Bangkok (1979-80) and James Berman Co., N. Y. (1983-84). Contributed to New York Times.

プレム・ナス

1941年インド生まれ。1965年ボンベイJ.J.建築大学卒。フリーの建築家としてホテルなどの商業空間のデザインを提供。1980年ジェイシー国際アワード若手優秀建築家賞。

**Mr. Prem Nath**

Born in India in 1941. Government diploma, Sir J J College of Architecture, Bombay, 1965. Specializes in private luxury villas. Jaycee Int'l Award '80 for outstanding young architect.

インウーク・オー

1947年韓国生まれ。クックミン大学院建築学修士号。京元大学インテリア建築学部教授。KOSID代表。ブルーハウスインテリアデザイン会長賞。インテリアデザインに関する著書。

**Prof. In-Wook Oh**

Born in Korea in 1947. M. A. in Architecture, Kookmin Univ. Prof. of Interior Architecture, Kyungwon Univ. Chief Director, KOSID. President's Award for The Blue House Interior Design.

張 綺曼

1941年中国生まれ。1980年中央工芸美術大学院デザイン学部デザイン学科修士号。1965-78年北京建築設計院勤務。1995年中国當代環境芸術設計優秀作品賞。「室内設計資料集」主編。

**Prof. Yi-Man Zhang**

Born in China in 1941. B. A. in Interior (1964) and M. A. in Design (1980), Specializes in environmental and interior design. China Environmental Art Design Excellent Award in 1995.

岡島達雄

1940年徳島県生まれ。1963年東京工業大学理工学部建築学科卒。建築材料、構法、意匠論専門。日本建築学会学会賞論文賞。日本建築仕上学会学会賞論文賞。

**Prof. Tatsuo Okajima**

Born in Tokushima in 1940. B. A. in Architecture, Tokyo Inst. of Technology, 1963. Specializes in building materials and construction, and design theory. Architectural Inst. of Japan Prize and Japan Society for Finishing Technology Prize.

オーレ・アンダーソン

1939年スウェーデン生まれ。イェーテボリ大学教授。照明デザイン、家具・都市デザイン専門。スウェーデンデザイン優秀賞16回受賞。デザインコンペ優勝多数。照明・住宅等に関する著書。

**Prof. Olle Anderson**

Born in Sweden in 1939. Prof., HDK Bothenborg Univ. Specializes in lighting design, furniture and urban design. Excellent Swedish Design (16 times). First Prizes in many design competitions. Books on lighting etc.

吉田紗栄子

1943年東京都生まれ。1960年日本女子大学家政学部住居学科卒。株吉田輝二建築研究所取締役。障害者の住宅・施設設計専門。「女性がつくる21世紀のマイホーム」競技設計優秀賞。

**Ms. Saeko Yoshida**

Born in Tokyo in 1943. B. A. in Residential Engineering, Japan Women's Univ., 1966. President Teruji Yoshida Architecture. Specializes in housing design for disabled. Excellent Award from "Housing Designed by women for 21 century".

大野美代子

岡山県出身。多摩美術大学デザイン学科卒。オットー・グlaus建築設計事務所を経て、エムアンドエムデザイン事務所設立。環境デザイン専門。日本インテリアデザイナー協会賞。

**Ms. Miyoko Ohno**

Born in Okayama. B. A. in Design, Tama Art Univ. Worked for Otto Glaus Architecture Office. Director, M + M Design Office. Specializes in environmental design. Japan Interior Designers Association Award.

石田秀翠

1942年愛知県生まれ。1964年立命館大学文学部日本文学学科卒。1966年華道石田流家元襲名。専門学校国際いけばな芸術学院理事長。都市文化奨励賞、愛知県知事賞、名古屋市長賞。

**Mr. Shusui Ishida**

Born in Aichi in 1942. B. A. in Japanese Literature, Ritsumeikan Univ., 1964. Head Master, Ikebana Ishida School, 1966. Chairman, Int'l Floral Art College. City Culture Promotion Award in 1986 and Aichi Governor's Award in 1993.

パール・H・レイマース

1939年スウェーデン生まれ。1964年ストックホルム国立工科大学建築学部卒。高速輸送機関建築専門。美と建築の融合を追求。スウェーデン建築家協会大賞カスパー・サリン賞。

**Mr. Per H. Reimers**

Born in Sweden in 1939. B. A. in Architecture, Royal Technical Inst. of Stockholm, 1964. Specializes in architecture for mass rapid transit and subsurface building. Kasper Salin Prize from the National Assoc. of Swedish Architect's Award.

清水義次

1949年山梨県生まれ。1971年東京大学工学部都市工学科卒。知性コミュニケーションズを経て、株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役。都市計画専門。

**Mr. Yoshitsugu Shimizu**

Born in Yamanashi in 1949. Graduated from Tokyo Univ. in urban Engineering in 1971 Worked for CHISEI Communications. Representative Director of AFTERNOON SOCIETY Inc. Specializes in urban planning.

森山明子

1953年新潟県生まれ。1975年東京芸術大学美術学部美術学科卒。特許庁意匠課審査官補を経て、日経デザイン編集長。「昭和のデザイン(パイオニア編)デザイン遣唐使のころ」共同執筆。

**Ms. Akiko Moriyama**

Born in Niigata in 1953. Graduated from Tokyo National Univ. of Fine Arts & Music. Worked as Assistant Examiner and Examiner in charge of Design Law in Japanese Patent Office. Editor-in-Chief of NIKKEI DESIGN. Co-author of "Japanese Design in Showa-Period".

マッシモ・イオザ・ギーニ

1959年イタリア生まれ。1982年ミラノ工科大学建築学科卒。ミラノのデザイン専門学校講師などを経て、スタジオ・イオザ・ギーニ設立。1988年ロスコー賞(米国)他、世界中で多数受賞。

**Dr. Massimo Iosa Ghini**

Born in Italy in 1959. B. A. in Architecture, Milano Inst. of Technology, 1982. Consultation in interior and product design for major international corporations. Roscoue Award (U.S.A.) in 1988.

加藤和雄

1952年愛知県生まれ。1976年名城大学理工学部建築学科卒。櫛日展他を経て、加藤和雄/状況空間研究所所長。インテリア・環境デザイン等専門。'94商環境デザイン奨励賞。

**Mr. Kazuo Kato**

Born in Aichi in 1952. B. A. in Architecture and Planning, Meijo Univ., 1976. Worked for Nitten and Space System Institute. Head, Kazuo Kato Contextual Space Institute. '94 Commercial Space Design Honorary Mention.

野井成正

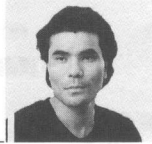
1944年大阪府生まれ。1962年府立西野田工業高校工業デザイン科卒。野井成正デザイン事務所代表。商環境・インテリアデザイン専門。1993年日本商環境デザイン賞大賞。

**Mr. Shigemasa Noi**

Born in Osaka in 1944. Graduated from Nishinoda Industrial High School, Osaka. Head Sigemasa Noi Design Office. Specializes in commercial space and interior design. JCD Design Award, Grand Prix in 1993.

高崎正治

1953年鹿児島県生まれ。1976年名城大学理工学部建築学科卒。櫛高崎正治都市建築設計事務所・TAKASAKI物人研究所代表取締役。建築に関する著書。

**Mr. Masaharu Takasaki**

Born in Kagoshima in 1953. B. A. in Architecture, Meijo Univ., 1976. President, Masaharu Takasaki Architects. Publications on architecture.

近藤康夫

1950年東京都生まれ。1973年東京造形大学造形学部デザイン学科室内建築専攻。近藤康夫デザイン事務所代表。1989年ロンドン国際インテリアデザイン賞。1989年インテリアスペースデザイン著。

**Mr. Yasuo Kondo**

Born in Tokyo in 1950. Graduated from Tokyo Univ. of Art and Design in interior architecture in 1973. President of YASUO KONDO DESIGN OFFICE. INTERIOR DESIGN INTERNATIONAL AWARD in 1989. Author of INTERIOR SPACE DESIGNING in 1989.

■10月5日[木]

10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
コンペ表彰式 9:30	記念シンポジウム[A-2] 10:00			分科会[B-5] 13:30	分科会[B-7] 14:00	分科会[B-6] 15:30	分科会[B-8] 16:00			
				ワークショップ[B-9] 13:00			企業ショールームサロン			
8:30	視察ツアー／高山分科会[T-1]									
9:00	バスツアー／建築コース①[S-3]					16:00				
	バスツアー／建築コース②[S-4]					17:00				
10:00	国際インテリアデザインフェア					17:00				

●コンペ表彰式 ———— 9:30～10:00
[センチュリーホール]

●記念シンポジウム — 10:00～12:00 ————— [A-2]
[センチュリーホール]

「生活環境の未来 — 包み込まれた秩序」

精神と物質が相互に依存する環境とは何か。こうした視点に基づいて未来の生活空間とは何かについて話し合います。

オギュスタン ベルク(フランス)

— フランス国立社会科学高等研究院教授

キャサリン フィンドレイ(イギリス)

— ウシダ・フィンドレイ・パートナーシップ 代表取締役

内田 繁(日本) — 株スタジオ80代表取締役

木村一男(日本)

— 株国際デザインセンター専務取締役(コーディネーター)

●分科会

「高度情報社会のデザイン思想」 — 13:30～15:00 — [B-5]
[232・233号室—2号館3階]

21世紀の世界規模の高度情報社会を展望し、どのような「デザイン思想」をもってその環境形成に参画すべきかを討議します。

川崎和男(日本) — 川崎和男デザイン室代表

ジョン サッカラ(オランダ) — オランダ国立デザイン研究所所長

ペーター ゼーツ(ドイツ)

— ノルトライン ヴェストファーレン デザインセンター 所長
長澤忠徳(日本)

— 東北芸術工科大学デザイン工学部助教授(コーディネーター)

「環境・産業・デザイン」 ————— 15:30～17:00 — [B-6]
[232・233号室—2号館3階]

「環境との共生」「組織とグループウェア」「労働(あるいは生活)の場としての空間」の3つを論点としてあげ、「電子時代」における具体的方向性を探ります。

入江経一(日本) — 株パワーユニットスタジオ代表取締役

ビル モーグリッジ(イギリス) — IDEOプロダクトデベロップメント

ジェームス トレフィル(アメリカ) — ジョージメイソン大学教授

柏木 博(日本) — 東京造形大学教授(コーディネーター)

「持続性のある環境」—— 13:30~15:00 —— [B-7]
[234号室-2号館3階]

デザインの視点を導入部として、限られた地球上で、自然環境を守り、豊かな生活を送るために何をすべきかを話し合います。

稲本 正(日本) — オークビレッジ代表

木村政生(日本) — 神宮司廳営林部長

マジダ マジド(マレーシア) — マジダデザイン代表

デビッド ピアソン(イギリス) — エコロジカルデザイン協会会長

島崎 信(日本) — 武蔵野美術大学教授(コーディネーター)

「転換期のデザイン教育
— 感性を育む教育環境」 —— 15:30~17:00 —— [B-8]
[234号室-2号館3階]

私たちは、どのような教育環境にあるのか、環境によって教育される人づくり、環境を創造するデザイナーの教育はどうあるべきかを考えます。

小林照子(日本) — 株美・ファイン研究所代表取締役

マイケル マッコイ(アメリカ) — イリノイ工科大学上級講師

サダカール ナドカルニ(インド) — インド工科大学IDセンター所長

松本侑壬子(日本) — 共同通信社調査部次長(コーディネーター)

●ワークショップ —— 13:00~17:00 —— [B-9]
[231号室-2号館3階]

「デザインの技法 — 使いこなそうコンピュータ」

Macintoshと建築統合CADソフトを使い、平面図作成データ入力から断面図作成、パース画、3Dレンダリング、さらにQuickTimeムービーまでを大型モニターでご覧いただきます。また、カラー出力機を用意し、出来上がったデータを直接出力します。

さらに、ロビーにMacintoshを用意し、「3Dソフト、画像編集ソフト、建築統合CADソフト」を自由に操作していただきます。

(協力)株富士ゼロックス

株TOO

株イメージアンドメジャーメント

●高山分科会(視察ツアー) —— 10月5日~6日 —— [T-1]
シンポジウム
「伝統的な木の技術」 —— 10月5日13:30~15:30
[高山・飛驒の里]

日本を代表する木の里「高山」を支える豊かな森を観察しながら飛驒の里(民家の博物館)を訪れ、飛驒の民家のなかで伝統的な木の技術と産業、デザインとの関わりを話し合います。

元田五山(日本) — 飛驒一位一刀彫協同組合理事長

喜多俊之(日本) — 株IDKデザイン研究所代表取締役

ソエダルソ ソエパドゥモ(インドネシア) — インドネシア美術協会会長

吉島忠男(日本) — 吉島家当主

岡田紘史(日本) — 月刊「室内」副編集長(コーディネーター)

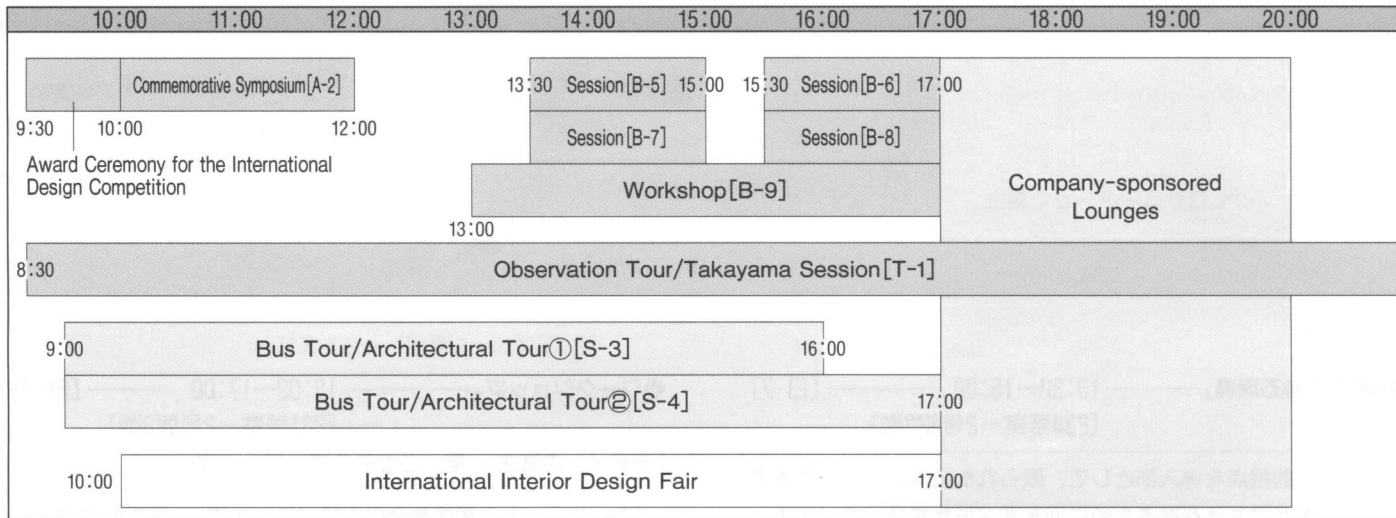
22ページをご覧ください。

●バスツアー/建築コース —— ①9:00~16:00 —— [S-3]
②9:00~17:00 —— [S-4]

24ページをご覧ください。

●国際インテリアデザインフェア —— 10:00~17:00
26・27ページをご覧ください。

10/5 Thu



● **Award Ceremony for the International Design Competition** — 9:30-10:00 [Century Hall]

● **Commemorative Symposium** — 10:00-12:00 [A-2] [Century Hall]

Implicated Order

Which environments maintain an ideal balance between the spiritual and material? Concepts for future living spaces will be discussed from this perspective.

Augustin Berque(France)—École des Hautes Etudes en Sciences Sociales

Kathryn Findlay(United Kingdom)—Ushida Findlay Partnership

Shigeru Uchida(Japan)—Principal, Studio 80

Kazuo Kimura(Japan)—Executive Director, International Design Center NAGOYA Inc.(Coordinator)

● **Sessions**
The Philosophy of Design in a High Information Society — 13:30-15:00 [B-5] [Room#232•233, Building No.2, 3rd floor]

Discussions will focus on design approaches demanded to create an environment suited to the sophisticated level of global information in the society of the next century.

Kazuo Kawasaki(Japan)—Principal, Kazuo Kawasaki Design Room

John Thackara(the Netherlands)—Director, Netherland Design Institute

Peter Zec(Germany)—President, Design Zentrum Nordrhein Westfalen

Tadanori Nagasawa(Japan)—Associate Professor, Tohoku University of Art & Design(Coordinator)

● **Environment, Industry, Design** — 15:30-17:00 [B-6] [Room#232•233, Building No.2, 3rd floor]

The session will search for specific directions in the Electronic Age focusing - in on three key factors: "symbiosis with the environment", "organization and groupware" and "space as a place for labor(living)."

Kei'ichi Irie(Japan)—President, Power Unit Studio Co., Ltd.

Bill Moggridge(United Kingdom)—Principal, IDEO Product Development

James Trefil(U.S.A.)Clarence J. Robinson Professor of Physics, George Mason University

Hiroshi Kashiwagi(Japan)—Professor, Tokyo University of Art and Design(Coordinator)

The Sustainable Design ————— 13:30-15:00 ——— [B-7]
 [Room#234, Building
 No.2, 3rd floor]

As the starting point for a discussion of design, this session will examine what we have to do to live satisfying lives while conserving the limited natural environment of the planet.

Tadashi Inamoto(Japan) — President, Oak Village
 Masao Kimura (Japan) — “ *Zingu - shicho* ” Director, Forest Admonistration Dept.
 Majidah Majid (Malaysia) — Managing Director / Principal, Majidah Design SDN BHD
 David Pearson(United Kingdom) — Chair & Founder, Ecological Design Association
 Makoto Simazaki(Japan) — Professor, Musashino Art University (Coordinator)

**Design Education in Transition
 -Educative Surrounding for Sense** ——— 15:30-17:00 ——— [B-8]
 [Room#234, Building
 No.2, 3rd floor]

This session will review the present state of education, human development vis - à - vis the environment and training of designers to create environments.

Teruko Kobayashi(Japan) — President, Beauty Fine Inst. Co.
 Michael McCoy(U.S.A.) — Senior Lecturer, Institute of Design, IIT
 Sudhakar Nadkarni(India) — Head of the Department, Industrial Design Center, IIT Bombay
 Yumiko Matsumoto(Japan) — Deputy Editor, News Data & Info. Section, Kyodo News Service(Coordinator)

● **Workshop** ————— 13:00-17:00 ——— [B-9]
 [Room#231, Building No.2, 3rd floor]

Techniques of Design-Let's Use a Computer !

Using Macintosh computers and construction-intergrated CAD Software you will be able to take a look at everything from inputting floor plan data to cross-sectional drawing, perspective drawing and 3D rendering. These and Quick Time movie can all be seen on a large-size monitor. Color printers will be available so that you can print out your data on the spot. Guest computers will be set up in the lobby so that you can fiddle around with 3D software, image editing and CAD construction drawing.

with the assistance of
 Fuji Xerox Co., Ltd.
 Too Corporation
 Image & Measurement Inc.

● **Takayama Session** ——— Oct.5~6 ——— [T-1]
(Observation Tour)

**Traditional Woodworking
 Techniques** ——— Oct.5 13:30-15:30
 [Takayama Hidanosato]

While observing the beautiful rich forests surrounding Takayama, one of Japan's forestry centers, we will visit Hida no sato, a museum of traditional housing and discuss the relationships between traditional wood technique, industry and design in the old house in Hida.

Gozan Genda(Japan) — Chairman, Ichii Ittoubori Guild
 Toshiyuki Kita(Japan) — President, I. D. K. Design Laboratory Ltd.
 Soedarso Soepadmo(Indonesia) — Chairman, Research Center Indonesia Inst. for the Arts Yogyakarta
 Tadao Yoshijima(Japan) — Master of the Yoshijima House
 Hiroshi Okada(Japan) — Chief Editor, The Shitsunai Monthly (Interior) (Coordinator)

● **Bus Tours:Architectural Tour** ——— ①9:00-16:00 ——— [S-3]
 ②9:00-17:00 ——— [S-4]

see page 24

● **International Interior Design Fair** ——— 10:00-17:00

see page 26•27

オギュスタン・ベルク

1942年フランス出身。1963年パリ大学文学部地理学科卒。1969年同学地理学博士、1977年文学博士号。著書に『風土としての地球』（筑摩書店1993）他。

**Prof. Augustin Berque**

Born in Paris in 1942. B. A. in Geography, Paris Univ., 1963. Ph. D. of Geography Literature. Professor, École des hautes études en sciences sociales since 1978. Geography specialist.

キャサリン・フィンドレイ

イギリス出身。ロンドン建築協会を経て、東京大学研究生(1980-82文部省奨学生)。BBCデザインアワード特別賞。建築文化に関する著書。

**Ms. Kathryn Findlay**

Born in Britain. Architectural Association, London (1973-79). Research Student (Monbusho Scholarship), Tokyo Univ. (1980-82) BBC Design Awards, Special Mention. Publication on architectural culture.

内田 繁

1943年神奈川県生まれ。1966年桑沢デザイン研究所卒。内田デザイン事務所を経て、(株)スタジオ80設立。1987年毎日デザイン賞。著書に『日本インテリア全四巻』他。

**Mr. Shigeru Uchida**

Born in Kanagawa in 1943. Graduated from The Kuwasawa Design School in 1966. Established Studio 80 in 1981. Specializes in interior design. The Mainichi Design Award in 1987.

木村一男

1934年大阪府生まれ。1958年東京芸術大学美術学部工芸科工芸計画部卒。(株)国際デザインセンター専務取締役。(社)日本インダストリアルデザイナー協会理事長。1992年勝美勝賞。

**Mr. Kazuo Kimura**

Born in Osaka in 1934. Graduated from Tokyo National Univ. of Fine Arts & Music in industrial arts. Executive Director of International Design Center NAGOYA. Secretary General of Japan Industrial Designer's Association. Katsumi Masaru Award in 1992.

川崎和男

1949年福井県生まれ。1972年金沢美術工芸大学美術工芸学部産業美術学科卒。川崎和男デザイン室代表、(株)オーザック代表取締役会長。1992年世界インダストリアルデザイン団体競技会特別賞。

**Mr. Kazuo Kawasaki**

Born in Fukui in 1949. Graduated from Kanazawa Univ. of Art in industrial design in 1972. CEO/Principal of OUZAK ENTERPRISES., LTD. Kazuo Kawasaki Design Room. ICSID Excellent Award in 1992.

ジョン・サッカラ

1951年イギリス生まれ。ケント大学哲学科卒。BBC、Axis他に寄稿。世界24カ国で建築、デザインマネージメント他を指導。国際デザイン研究所代表。クライアントにIBM、日本航空他。

**Mr. John A. Thackara**

Born in England in 1951. B. A. in Philosophy, the Univ. of Kent. Worked for the BBC, Axis and other publications. Lectured on architecture, design management etc. in 24 countries. Director, the Netherlands Design Inst.

ペーター・ゼーツ

1956年ドイツ生まれ。メディア科学、心理学、美術史専攻。ウクリューク大学メディア文化論客員教授(1988-89)。展示オーガナイザー等を経て、ノルトライン・ヴェストファーレン・デザインセンター所長。

**Dr. Peter Zec**

Born in Germany in 1956. Studied media-sciences, psychology and art history. Guest prof. for media-and-culture theory. (1988-89) President, Design Zentrum Nordrhein Westfalen.

長澤忠徳

1953年富山県生まれ。1981年英国王立芸術大学修士号。長澤忠徳事務所代表取締役。デザイン・アナリシス・インターナショナル(英)日本代表。デザイン、カルチュラル・エンジニアリング専門。

**Mr. Tadanori Nagasawa**

Born in Toyama in 1953. M. A., Royal College of Art, London. Director, Tadanori Nagasawa Associates Ltd. and of Design Analysis Int'l Ltd. (UK) Specializes in design and cultural engineering.

入江経一

1950年東京都生まれ。1976年東京芸術大学建築学科修士号。1987年(株)パワーユニットスタジオ設立。東京芸術大学建築科講師。建築デザイン専門。東京建築士会特別賞。

**Mr. Kei'ichi Irie**

Born in Tokyo in 1950. M. A. in Architecture, Tokyo Univ. of Fine Art in 1976. Established Power Unit Studio Co., Ltd. in 1987. Lecturer, Tokyo Univ. of Fine Art. Tokyo Architects Association Distinction Award.

ビル・モーグリッジ

1943年イギリス生まれ。トンブリッジスクール卒。イデオ・プロダクト・ディベロップメント代表。元スタンフォード大学講師。英国王立芸術大学客員教授。デザインの革新的利用を研究。

**Mr. Bill Moggridge**

Born in Britain in 1943. Grad. from Tonbridge School. Principal, IDEO Product Development. Taught at Stanford Univ. Visiting prof., the Royal College of Art. Developed the strategic use of design for innovation.

ジェームス・トレフィル

1938年アメリカ生まれ。バージニア大学物理学教授を経て、現在ジョージ・メイソン大学物理学教授。科学文学、都市科学専門。1988年グッゲンハイム世界学術会議特別会員。

**Dr. James Trefil**

Born in America in 1938. Prof. of Physics, Univ. of Virginia (1970-87). Prof. of Physics, George Mason Univ. Specializes in scientific literacy and technology of cities. Guggenheim Fellow (1988), World Academic Forum.

柏木 博

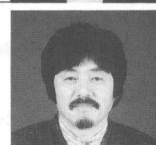
1946年兵庫県生まれ。武蔵野美術大学デザイン学部卒。東京造形大学教授。文化庁芸術選奨選考委員。1994年勝見勝賞。近代デザインに関する著書・評論。

**Prof. Hiroshi Kashiwagi**

Born in Hyogo in 1946. B. A. in Design, Musashino Art Univ. Prof., Tokyo Univ. of Art and Design. Member of Art Promotion and selection Committee. Katumi Masaru Award, 1994. Books on modern design.

稲本 正

1945年富山県生まれ。1969年立教大学理学部物理学科卒。立教大勤務を経て、オーク・ヴィレッジ設立、代表。木工芸、森林専門。森に関する著書多数。

**Mr. Tadashi Inamoto**

Born in Toyama in 1945. B. A. in Physics, Rikyo Univ., 1969. Worked for Rikyo Univ. President, Oak village Associates. Specializes in wood craft and forestry. Publications on wood and forestry.

木村政生

1935年三重県生まれ。三重大学農学部林学科卒。神宮司廳営林部長。森林生態学専門。神宮備林の林業経営と技術、ヒノキ大樹育成に関する著書。

**Mr. Masao Kimura**

Born in Mie in 1935. B. A. in Forestry, Mie Univ. Dept. Administrator of Forestry, the Board for Ise Grand Shrine. Specializes in Forest Ecology. Publications on forest management and technology.

マジダ・マジド

1944年マレーシア生まれ。マジダデザイン代表。マラー工科大学インテリアデザイン顧問。商業デザイン専門。1992年インテリアデザイナー賞ホスピタリティ部門優勝、飲食部門功労賞。

**Ms. Majidah Majid**

Born in Malaysia in 1944. Director, Majidah Design SDN BHD. Academic Advisor, Inst. of Tech. MARA. First Prize, Interior Designers Award '92 in Hospitality category, Merit Prize in Food & Beverage category.

デビット・ピアソン

1940年イギリス生まれ。1968年カリフォルニア大学パークレー校都市設計学修士号。エコロジカルデザイン協会会長。建築、環境デザイン専門。ニューヨーク州連邦基金よりハーケネス特別研究生。

**Mr. David Charles Pearson**

Born in Britain in 1940. M. A. in City & Regional Planning, Univ. of California at Berkeley, 1968. Chairman, Ecological Design Association. Harkness Fellowship from Commonwealth Fund of N. Y.

島崎 信

1932年東京都生まれ。1956年東京芸術大学美術学部工芸学科卒。島崎信事務所代表。武蔵野美術大学教授。インテリアデザイン専門。通産省Gマーク及び中小企業賞受賞。

**Prof. Makoto Shimazaki**

Born in Tokyo in 1932. B. A. in Art, Tokyo National Univ. of Arts and Music, 1956. President, Shimazaki Makoto Design Inc. Prof., Musashino Arts Univ. Interior Design Specialist. Good Design "G mark" Prize.

小林照子

1935年東京都生まれ。1957年東京高等美容専門学校卒。㈱コーセー勤務を経て、㈱美・ファイン研究所代表取締役社長他。総合美容、メイクアップに関する著書多数。

**Ms. Teruko Kobayashi**

Born in Tokyo in 1935. Graduated from Tokyo Aesthetic School in 1957. Worked for Kose Co. (1985-91) President, Beauty Fine Inst. Co. Publication on total aesthetics and make-up.

マイケル・マッコイ

1944年アメリカ生まれ。英国王立芸術大学客員教授。イリノイ工科大学上級講師。クライセンアワード・デザイン革新賞。アメリカンセンター・デザイン教育アワード。

**Prof. Michael D. McCoy**

Born in America in 1944. Visiting lecturer, Royal College of Art. Senior lecturer, IIT, Chicago. Partner, McCoy & McCoy Inc. Cryscen Award for Innovation in Design. American Center for Design Education Award.

サダカール・ナドカルニ

1936年インド生まれ。1964年インドJJI応用芸術大学卒。国立デザイン大学(アマダバッド)助教授を経て、インド工科大学IDセンター教授。全国アート展銀賞。セールデザイン大統領賞。

**Mr. Sudhakar S. Nadkarni**

Born in India in 1936. Grad. from Sir J. J. School of Applied Arts in 1964. Assoc. Prof., National Inst. of Design (1967-69). Prof., ID Center, IIT. Silver Medal, State Art Exhibition. President Medal, Point of Sale Design.

松本侑壬子

1939年鳥取県生まれ。1962年津田塾大学英文学科卒。翻訳、秘書、教師を経て、共同通信社調査部次長。映画、女性問題、生活文化、教育に関する著書多数。

**Ms. Yumiko Matsumoto**

Born in Tottori in 1939. B. A. in English Literature, Tsuda College, 1967. Deputy Editor of News Data & Info. Section, Kyoto New Service. Books on cinema, women's issues, life & culture and education.

元田五山

1932年岐阜県生まれ。1954年岐阜県立妻太高校卒。飛騨一位一刀彫協同組合理事長。1966年たくみ工房開設。1986年岐阜県卓越技能表彰、1992年文化功労顕彰、1994年岐阜県文化特別奨励賞。

**Mr. Gozan Genda**

Born in Gifu in 1932. Chairman, Ichii Ittoubori Guild. Established Takumi Koubou in 1966. Commendation of Gifu Excellent Skill in 1986. Special Certification of Gifu Artistic Culture Merit in 1994.

喜多俊之

1942年大阪府生まれ。1964年遠速短期大学工業デザイン学科卒。㈱IDKデザイン研究所代表取締役。環境・工業デザイン、日本の伝統工芸復興に従事。1985年毎日デザイン賞。

**Mr. Toshiyuki Kita**

Born in Osaka in 1942. Graduated from Naniwa College in Industrial Design in 1964. President, I. D. K. Design Laboratory Ltd. Specializes revitalization of trad'l Japanese craft design. Mainichi Design Award in 1985.

ソエダルソ・ソエバドゥモ

1936年インドネシア生まれ。1964年北イリノイ大学卒。専門分野はインドネシア美術史。インドネシア美術協会会長。SENI美術ジャーナル編集長。

**Mr. Soedarso Soepadmo**

Born in Indonesia in 1936. M. A. in Arts from Northern Illinois Univ. in 1964. Specialized in Indonesian Art History. Chairman, Indonesia Inst. for the Arts Yogyakarta. Editor-in-Chief of SENI, Journal for the Arts.

吉島忠男

1939年岐阜県生まれ。1964年日本大学理工学部建築学科卒。東京芸術大学大学院で保存技術を学ぶ。丹下健三都市建築設計研究所を経て、森林たくみ塾非常勤講師。桜建築。吉島家住宅重要文化財指定。

**Mr. Tadao Yoshijima**

Born in Gifu in 1939. B. A. in Architecture, Nihon Univ., 1964. Worked for Kenzo Tange + Urtec. Ohken Award. Designed Yoshijima House which was designated Most Important National Property.

岡田紘史

1942年埼玉県生まれ。1967年慶応義塾大学法学部政治学科卒。旧共同石油㈱を経て、㈱工作社「室内」編集部勤務。月刊「室内」副編集長。責任編集者に㈱工作社刊行の専門書多数。

**Mr. Hiroshi Okada**

Born in Saitama in 1942. B. A. in Law, Keiougijuku Univ., 1967. Worked for ex-Kyodo Sekiyu. Subeditor of monthly magazine, "Interior". Chief editor of professional magazines by Kosakusha.

■10月6日[金]

10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
10:00	全体会 [A-3]		12:00	13:30	閉会式 [A-4]	15:00				
視察ツアー/高山分科会 [T-1]			12:30			15:30	フェアウェルパーティ [P-3]		18:00	
10:00	バスツアー/伝統コース [S-5]				15:00					
10:00	国際インテリアデザインフェア						17:00			

●全体会 — 10:00~12:00 — [A-3]
[センチュリーホール]

「その時デザイナーは何をするのか」

会議の最後にあたって、我々デザイナーは、自然災害あるいは人為的なものを含めて、予期できない惨禍に如何に対処するのかを、それぞれのデザイン領域でのリーダーから、日常性を含めての対応を討議します。

- 鬼頭 梓 (日本) — 鬼頭梓建築設計事務所 所長
 福田 繁雄 (日本) — 社団法人日本グラフィックデザイナー協会 副会長
 デニス ハンディ (アイルランド) — IFI 次期理事長
 諸星 和夫 (日本) — トヨタ自動車(株) デザイン部 部長・理事
 夢童由里子 (日本) — 人形作家
 中村 隆一 (日本) — 京都市立芸術大学 教授 (コーディネーター)

●閉会式 — 13:30~15:00 — [A-4]
[センチュリーホール]

- ◇IFI アワード
- ◇JID 賞表彰式
- ◇アイルランドプレゼンテーション

●フェアウェルパーティ — 15:30~18:00 — [P-3]
[レセプションホール]

20ページをご覧ください。

●バスツアー/伝統コース — 10:00~15:00 — [S-5]
25ページをご覧ください。

●国際インテリアデザインフェア — 10:00~17:00
26・27ページをご覧ください。

■10月7日[土]

10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
10:00	国際インテリアデザインフェア						17:00			

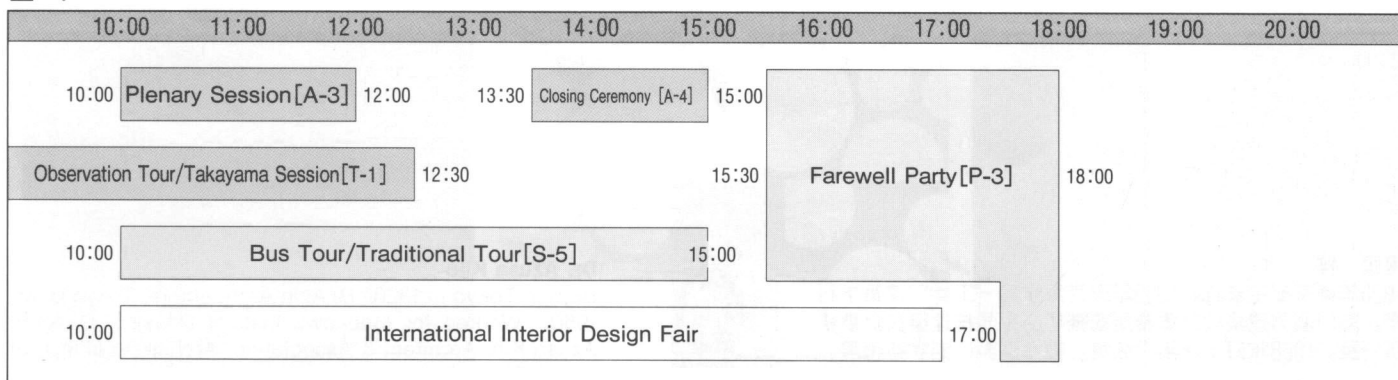
●国際インテリアデザインフェア — 10:00~17:00

■10月8日[日]

10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
10:00	国際インテリアデザインフェア					16:00				

●国際インテリアデザインフェア — 10:00~16:00

■ 10/6 Fri



● **Plenary Session** — 10:00~12:00 — [A-3]
[Century Hall]

What Will Designers Do Then ?

In the final congress, designers who take leadership in each representing field will discuss their roles in reacting to unexpected disasters as well as their behavior in ordinary life.

- Azusa Kito (Japan) — Azusa Kito Architect & Associates
- Shigeo Fukuda (Japan) — Vice President, Japan Graphic Designers Association Inc.
- Denis Handy (Ireland) — President-elect, IFI
- Kazuo Morohosi (Japan) — Senior General Manager Design Div. Toyota Motor Corporation
- Yuriko Mudo (Japan) — Doll Producer
- Ryuichi Nakamura (Japan) — Professor, Kyoto University of Fine Arts (Coordinator)

● **Closing Ceremony** — 13:30~15:00 — [A-4]
[Century Hall]

- ◇ IFI Award
- ◇ Award Ceremony for the JID
- ◇ Ireland Presentation

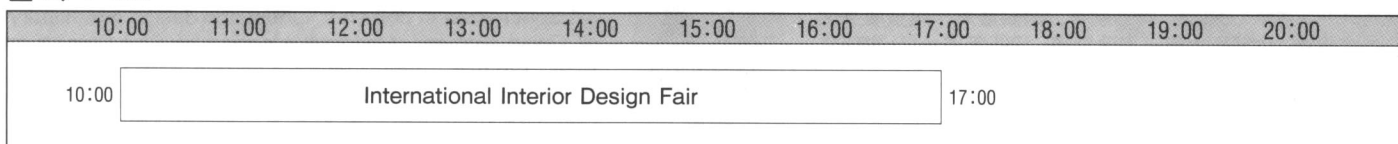
● **Farewell Party** — 15:30~18:00 — [P-3]
[Reception Hall]

See Page 20

● **Bus Tour: Traditional Tour** — 10:00~15:00 — [S-5]
See Page 25

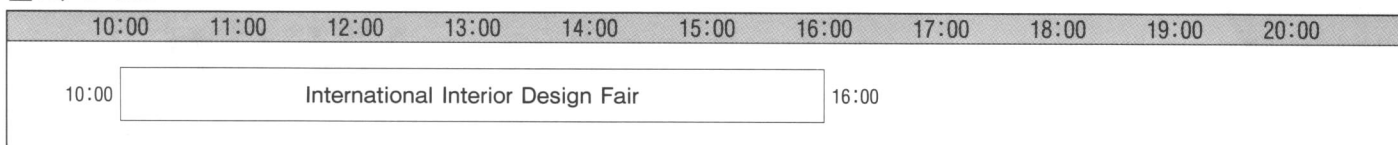
● **International Interior Design Fair** — 10:00~17:00
See Page 26,27

■ 10/7 Sat



● **International Interior Design Fair** — 10:00~17:00

■ 10/8 Sun



● **International Interior Design Fair** — 10:00~16:00

鬼頭 梓

1926年東京都生まれ。1950年東京大学第一工学部建築学科卒。前川國男建築設計事務所を経て、鬼頭梓建築設計事務所所長。1968年日本建築学会賞。教会建築に関する著書。

**Dr. Azusa Kito**

Born in Tokyo in 1926. B. A. in Architecture, Tokyo Univ., 1950. Worked for Maekawa Inst. of Design. Director, Azusa Kito Architect & Associates. Architectural Inst. of Japan Prize 1968.

福田繁雄

1932年東京都生まれ。1956年東京芸術大学美術学部デザイン学科卒。JAGDA副会長。東京芸大デザイン科客員教授。ニューヨークADCの名誉の殿堂賞。世界優秀ポスター1995年サビニャックグランプリ賞。

**Prof. Shigeo Fukuda**

Born in Tokyo in 1932. B. A. in Design, Tokyo National Univ. of Fine Arts & Music. Vice President, JAGDA. The N.Y.ADC Hall of Fame. Le Grand Prix Savignac 1995. (L'UNESCO)

デニス・ハンディ

1942年アイルランド生まれ。1967年建築工科大学卒。インテリア建築家/デザイナー協会会長。ダブリン新空港デザインチーム参画。1982年ビルディングオブザイヤー受賞。

**Mr. Denis L. Handy**

Born in Ireland 1942. The President Int'l Federation of Interior Architects/Designers. Building of the Year Award in 1982. Publications on design for disability and aging.

諸星和夫

1940年東京都生まれ。1963年千葉大学工学部工業意匠学科卒。キャルティ・デザインリサーチ(米国)を経て、トヨタ自動車(株)デザイン部部长・理事。1990年毎日デザイン賞特別賞。

**Mr. Kazuo Morohoshi**

Born in Tokyo in 1940. B. A. in Industrial Design, Chiba Univ., 1963. Worked for Calt Design Research Inc. Senior General Manager of Design Div., Toyota Motor Co. Mainichi Design Special Prize in 1990.

夢童由里子

京都府出身。京都市立芸術大学美術学部日本画学科卒。(有)夢童アート代表取締役。人形制作、景観造形、尾張藩女性史研究専門。1984年都市文化奨励賞。1995年ポメリ・中部文化賞。

**Ms. Yuriko Mudo**

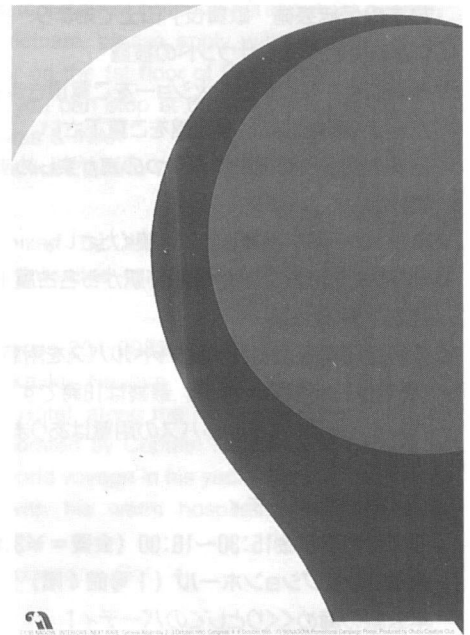
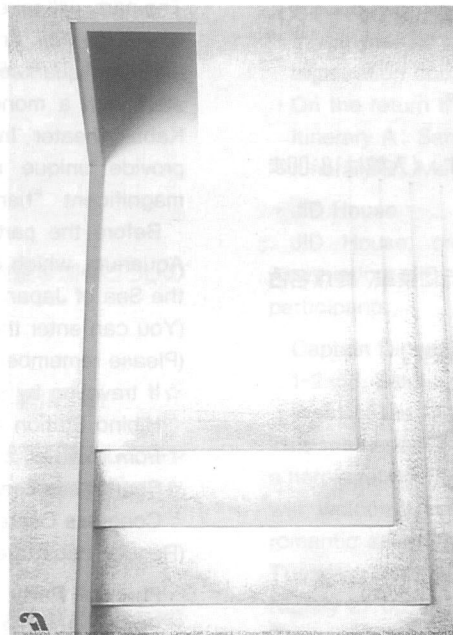
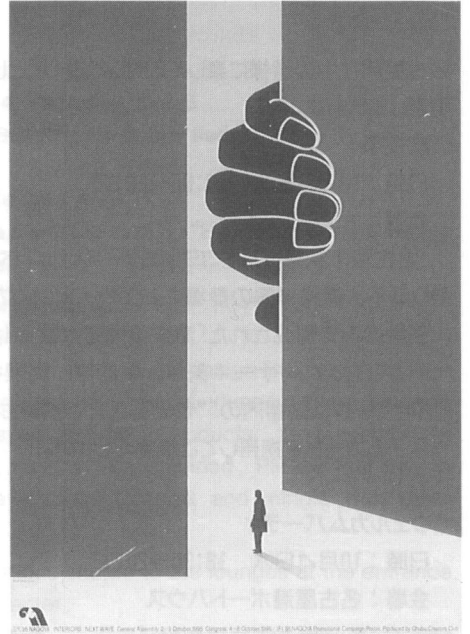
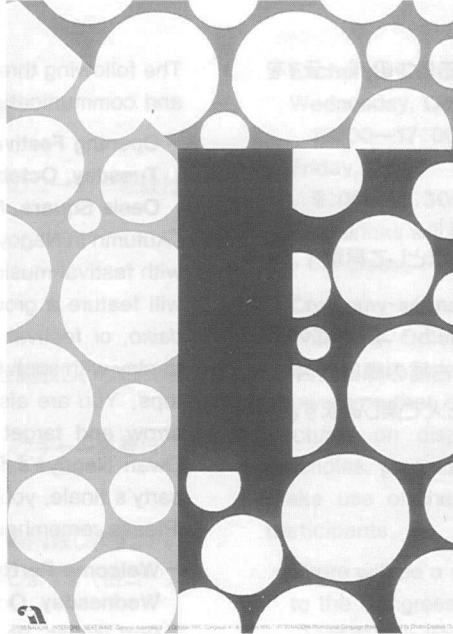
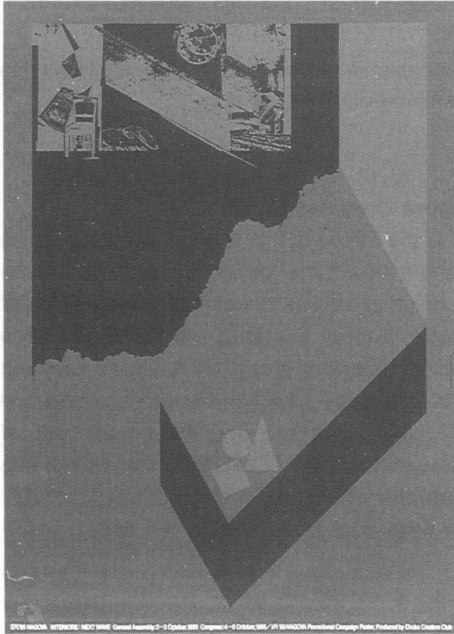
Born in Kyoto. B. A. in Japanese Art, Kyoto Univ. of Fine Art Specializes in doll craft, landscape design and history of Owari women. Honorary Mention of City Culture in 1984. Promeri Chubu Culture Award in 1995.

中村隆一

1938年京都府生まれ。1963年京都市立大学美術学部工芸科図案専攻卒。榊日建設計、ノールプランニングアソシエイツを経て、京都市立芸術大学教授。ID、インテリアデザイン専門。

**Prof. Ryuichi Nakamura**

Born in Kyoto in 1938. B. A. in Design and Crafts, Kyoto Univ. of Fine Arts. Worked for Nikken Sekkei Co. and Nor Planning Associates Co. Prof., Kyoto Univ. of Fine Arts. Industrial and interior design specialist.



名古屋滞在中の皆様楽しく交流して頂く場として3つのパーティを用意しています。

◎前夜祭

日時：10月3日(火) 18:00～20:00

会場：オアシス広場

「名古屋の秋祭り」をコミュニケーションスペースとして再現！

祭り囃子、酒樽神輿の登場によりオープニング

子供のみで構成された「海東流神楽太鼓」、けん玉・コマなどの伝承遊び体験コーナー：矢場、射的等、尾張名古屋の縁日屋台
フィナーレは会場内の「せせらぎ」で手持ち花火で楽しめます。

☆ネームカードを携帯してご参集ください。

◎ウェルカムパーティ

日時：10月4日(水) 18:30～20:30

会場：名古屋港ポートハウス

ライトアップした南極観測船「ふじ」・ポートビル・水族館

日本の伝統芸術「歌舞伎」口上で始まり、各国出身のアーティストによる特色のあるサウンドの披露

豪快に炎を吹く手筒花火ショーをご覧頂きます。

パーティ開始前に、水族館をご覧下さい。

日本の海から南極までの5つの海が楽しめます。(入館は18:00まで)

☆ネームカードを携帯してご参集ください。

☆地下鉄ご利用の場合、日比野駅から名古屋港行に乘車、終点名古屋港下車①出口

☆国際会議場正面玄関よりシャトルバスを用意します。

(発着は15時以降、随時、最終は18時です)

☆パーティ終了後シャトルバスの用意はありません。

◎フェアウェルパーティ

日時10月6日(金)15:30～18:00 (会費=¥3,000)

会場：レセプションホール(1号館4階)

本会議の締めくくりとしてのパーティ！

音と光の映像でのオープニング！

参加デザイナーによるパフォーマンスステージー

次期開催国のアピールステージ等フィナーレにふさわしい集いと
なるでしょう。

多数のご参加をお待ちしております。

☆閉会式終了後4階のレセプションホールへご参集下さい。

☆このパーティは会費制です。(¥3,000-)

☆当日参加申込みも受付ます。会場入口受付へお申し出下さい。

The following three receptions will be held to promote friendship and communication during your visit to Nagoya.

• Opening Festival

Tuesday, October 3, 18:00-20:00

Oasis Square, Nagoya Congress Center

“Autumn in Nagoya” is the theme of this festival, which will open with festival music and a sake barrel portable float. The festival will feature a group of children in a concert of *kaitoryu kagura daiko*, or festival drums, and all attending will have a chance to play with such traditional toys as a cup-and-ball and spinning tops. You are also invited to try your hand at using a bow and arrow and target shooting while enjoying the atmosphere of Owari Nagoya’s festival stalls. At “Seseragi”, the site of the party’s finale, you can enjoy handheld fireworks.

(Please remember to wear your name card to the party.)

• Welcome Party

Wednesday, October 4, 18:30-20:30

Port House, Port of Nagoya

The party will take place at the Port House of the Port of Nagoya, where the *Fuji*, an Antarctic observation ship, the Port building and the Aquarium will be beautifully illuminated. The party will start with a monologue by an actor from Japan’s traditional Kabuki theater. In addition, musicians from around the world will provide unique music. You will also be able to enjoy magnificent “hand-gun” fireworks.

Before the party, you can visit the Port of Nagoya Public Aquarium, which offers simulations of five oceans ranging from the Sea of Japan to the Antarctic.

(You can enter the aquarium until 18:00.)

(Please remember to wear your name card to the party.)

☆If traveling by subway, take the Nagoyako-bound train from Hibino Station and get off at the Nagoyako terminal. Leave from Exit No. 1.

☆Shuttle bus service will be available from the entrance of the Congress Center.

(Regular departures begin at 15:00; final departure is at 18:00.)

• Farewell Party

Friday, October 6, 15:30-18:00

Reception Hall (Building No. 1, 4th floor), Admission: ¥3,000

The party will open with a sound and light show, and will feature performances by participating designers.

This gathering will be a fitting finale to the congress and will include the announcement of the decision on the next host country. We urge everyone to attend.

☆Please assemble in the Reception Hall on the 4th floor after the closing ceremony.

☆There will be a ¥3,000 admission charge for the party.

☆Reservations will be accepted on the day of the party at the reception desk near the entrance to the reception hall.

◎交流サロン

10月4日(水)・5日(木)12:00~17:00 2号館3階
6日(金)9:00~15:30 センチュリーホール

会議で疲れた後、憩いの場としてフリードリンクのコーナーを設けます。

◎企業ショールームサロンのご案内

10月5日(木)17:00~20:00

インテリア関連企業の協力によりショールームを開放し、サロンを設置します。

展示商品(製品)、施工例、プランニング等のレクチャーを受け、意見交換、親睦と交流を図ります。

☆国際会議場(正面玄関)からマイクロバスでご案内致します。

☆2つのコースに分かれ(企業別に組合せ)実施します。(各コース20名程度)

☆参加希望の方は、お早めに「登録カウンター」(1号館1階)へ申込み下さい。

☆帰路「JIDハウス」=アフターサロンにご案内します。

Aコース=サンゲツ⇒INAX

Bコース=松下電工⇒祖父江ジャパン

◎JIDハウス(アフターサロン)の開設

社団法人日本インテリアデザイナー協会(JID)が会議参加者どうしの交流を更に深めるために開設します。

【キャプテン・ディナー】 ☎204-0933

名古屋市中区栄1-2-58 ヒルトンホテル西、堀川沿い

1981年「エリカ号」=ヨットで世界一周航海の快挙を果たしたキャプテン長江氏の夢とロマンに満ちた洒落たお店が皆様をお迎えします。

10月3日(火)・4日(水)21:00~24:00

5日(木)18:00~24:00(会費¥1,000- ※海外参加者は無料)

秋の夜長を皆で語り合いましょう!



• Exchange Corner

Wednesday, Oct. 4-Thursaday, Oct. 5
12:00~17:00(Building No. 2,3rd floor)

Friday, Oct. 6
9:00~15:30(Century Hall)

Free drinks will be available at this "Exchange corner" during the congress. Please be sure to visit.

• Company-sponsored Lounges

Thursday, October 5, 17:00-20:00

Companies involved in the interior design industry will open showrooms that can also be used as lounges at no charge. Lectures on displayed company products, their installment examples, planning, etc. will be provided. Please feel free to make use of these lounges to relax and mingle with other participants.

• There will be a minibus shuttle to the lounges at the entrance to the Congress Center.

• There will be two showroom tours to two corporate showrooms. Each tour can accommodate about 20 people.

• If you wish to participate, please apply without delay at the registration counter on the 1st floor of Building No. 1.

• On the return trip, you can stop at the JID House salon.
Itinerary A: Sangetsu & INAX

Itinerary B: Matsushita Electric Works & Sofue Japan

• JID House

JID House, organized by the Japan Interior Designers' Association (JID), is intended to facilitate exchanges among participants.

Captain Dinner: Phone 204-0933

1-2-58, Sakae, Naka-ku, Nagoya

West of the Hilton Hotel, along the Horikawa River

This restaurant is operated by Captain Nagae, who completed a heroic round-the-world voyage in his yacht Erica. The captain will welcome you with his warm hospitality and stories of romantic adventures.

Tuesday, Oct. 3-Wednesday, Oct. 4

Nightly 21:00-24:00

Thursday, Oct. 5

Nightly 18:00-24:00

Admission: ¥1,000(Overseas participants admitted free of charge)

Come and enjoy the friendly company on an autumn night in Nagoya.

高山視察ツアーのご案内

◎視察ツアー(高山分科会)10/5(木)～6日(金)1泊2日

日本の木の文化の長い歴史の中で育まれた技と心…
木と生活を巧みに調和させた美しい街… きっと思い出になる旅となるでしょう。

●コース

10/5 ホテルキャッスルプラザ ⇒ 高山飛驒の里(昼食) = シンポジウム
(名古屋駅前) 8:30 12:30～13:30 13:30～15:30
家具工場見学 = 屋台会館、町並み散策 = 桜山会館(懇親会)
15:30～16:30 18:00～20:00
囲炉裏談義(吉島家) = ホテル
20:30～ ●部屋割りには添乗員が車内でお渡しします。

宿舎 = ホテル フォーシーズン

☎(0577)36-0088 FAX(0577)36-0080

10/6 高山(ホテル) ⇒ 名古屋国際会議場 = 閉会式
8:30 13:00(昼食) 13:30～15:00

●ネームカードを携帯してください。

●ツアーについて変更がある場合はインフォメーションボード(1号館2階)ツアーカウンター(1号館1階)でご連絡致します。

集合 AM8:15 ホテルキャッスルプラザ(名古屋駅前) ☎582-2121	集合 10/5 AM8:25 名古屋金谷ホテル ☎931-5811
出発 AM8:30	出発 AM8:40

◎Observation Tour: Takayama Session
October 5-6 (overnight stay)

Visit Takayama—a beautiful city where woodworking is part of a harmonious lifestyle—to learn the techniques and spirit of Japan's woodworking, nurtured through Japan's time-honored culture. Your visit is sure to be a memorable one.

●Itinerary

Thursday, Oct. 5
08:30: Depart Hotel Castle Plaza
12:30: Lunch at Takayama Hidanosato
13:30: Symposium
15:30: Furniture factory showroom
16:30: Strolling the old streets and visiting Yatai Kaikan
18:00-20:00: Reception
20:30: Fireside talks at Yoshijima House
Return to Hotel: (The tour escort will announce room assignments on the bus.)
Accommodation: Four Seasons Hotel
Phone: (0577)36-0088
Fax : (0577)36-0080

Friday, Oct. 6
08:30: Depart hotel in Takayama
13:00: Lunch at Nagoya Congress Center
13:30-15:00: Closing Ceremony

- Please bring your name card
- Any changes will be posted at the message board (2nd floor of Building No. 1) and at the tour counter (1st floor of Building No. 1).

October 5
a. 08:15: Assemble at the Hotel Castle Plaza, Phone 582-2121
08:30: Departure
b. 08:25: Assemble at the Nagoya Kanaya Hotel, Phone 931-5811
08:40: Departure

バスツアーのご案内

●ツアーで定員に余裕のあるコースについては随時参加受付をしております。1号館1階のツアーカウンターへお申し出下さい。

10月4日水

[S-1] 産業コース①〈モノづくりの楽しさに出会う…〉半日コース

- ※世界のノリタケチャイナの製作工程と歴史にふれる
- ※トヨタグループの発祥の地に「創造と研究」を伝えるためにつくられた産業と技術の展示館〈参加費¥1,000-〉

◎コース

国際会議場 ⇒ ノリタケ・クラフトセンター ⇒ 産業技術記念館
 12:30 13:00~14:30 14:45~15:30
 ⇒ サンゲツショールーム ⇒ 名古屋港=水族館見学 ⇒ ウェルカムパーティ
 15:45~16:45 17:30 18:30~

集合 12:15 国際会議場正面玄関(時間厳守)
 出発 12:30 ☆ネームカードを携帯してください。

☆ネームカードを携帯してください。

[S-2] 産業コース②〈古代焼き物から現代ハイテクまで…〉1日コース

- ※当地を中心に古代から現代までの陶磁器の歴史にふれる
- ※世界の人々に愛されているトヨタ車の製造工程などを見学〈参加費¥2,000-〉

◎コース

ホテルキャッスルプラザ ⇒ トヨタ本社工場 ⇒ 愛知県陶磁資料館
 (名古屋駅前)8:30 10:00~11:00 14:30~15:30
 ⇒ 名古屋港=水族館見学 ⇒ ウェルカムパーティ
 17:00 18:30~

集合 8:15(時間厳守) 名古屋駅前「ホテルキャッスルプラザ」 TEL 582-2121	集合 8:30 名古屋金谷ホテル TEL 931-5811
出発 8:30	出発 8:40

☆ネームカードを携帯してください。

Information on Bus Tours

●Reservations are still being accepted for some tours. Please reserve at the tour counter on the 1st floor of Building No.1.

Wednesday, October 4 (Afternoon)

(S-1) Industrial Tour 1: An Introduction to Advanced Production

- Learn about the history of Noritake's world-renowned pottery production process.
 - Visit the Exhibition Hall of the Museum of Industry and Technology, located near the birthplace of the Toyota Group, to learn more about innovation and research.
- Tour Fee: ¥1,000

●Itinerary

12:30: Depart Nagoya Congress Center
 13:00-14:30: Noritake Craft Center
 14:45-15:30: Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology
 15:45-16:45: Sangetsu Showroom
 17:30: Arrive Port of Nagoya Public Aquarium
 18:30: Welcome Party at Port House, Port of Nagoya

12:15: Assemble at the front entrance of the Nagoya Congress Center (please be punctual).
 12:30: Departure. (Please be sure to bring your name card.)

☆Please bring your name card.

Wednesday, October 4 (full day)

(S-2) Industrial Tour 2: From Ancient Pottery to High Technology

- Learn about the development of pottery in this area from ancient to modern times.
 - Observe Toyota's production processes at a factory for world-renowned automobiles.
- Tour Fee: ¥2,000

●Itinerary

08:30: Depart Hotel Castle Plaza
 10:00-11:00: Head Factory of Toyota Motor Cooperation
 12:15-13:30: Lunch
 14:30-15:30: Aichi Prefectural Ceramic Museum
 17:00: Arrive at the Port of Nagoya Public Aquarium
 18:30: Welcome Party

a. 08:15: Assemble at the Hotel Castle Plaza (please be punctual). Phone 582-2121
 08:30: Departure
 b. 08:30: Assemble at the Nagoya Kanaya Hotel.
 Phone 931-5811
 08:40: Departure

☆Please bring your name card.

10月5日(木)

[S-3] 建築コース①(歴史が織りなすフォーム)10/5(木)1日コース

(参加費¥2,000-)

- ※五重塔(重文)と縁日を楽しむ
- ※自然回遊式の林泉庭園、三方が障子の開放的な茶室
- ※岐阜白川村より移築された合掌造の民家=豪雪に適応出来る建築様式
- ※名古屋の都心TV塔を中心にデザインされた久屋大通公園、現代建築の粋を取り入れた“愛知芸術文化センター”“NHK放送センター”の見学

◎コース

ホテルキャッスルプラザ ⇒ 八事興正寺 ⇒ 東山荘 ⇒ 東山公園合掌造 ⇒ 栄(名古屋駅前)9:00 10:00 11:00 13:00(昼食) 16:00

集合 8:15(時間厳守) 名古屋駅前「ホテルキャッスルプラザ」 TEL 582-2121	集合 8:30 名古屋金谷ホテル TEL 931-5811
出発 8:30	出発 8:40

☆ネームカードを携帯してください。

[S-4] 建築コース②(いくつもの時代を越えて)1日コース(参加費

¥2,000)

- ※明治時代の歴史的建築物などを丘陵地に復元した野外博物館
- ※犬山城の桃山風天守閣は日本最古、国宝に指定
- ※国宝茶席「如庵」は三名席の一つ
- ※巨大な木製の男性シンボルを奉納する天下の奇祭“豊年祭り”

◎コース

ホテルキャッスルプラザ ⇒ 明治村 ⇒ 有楽苑(如庵) ⇒ 犬山城 ⇒ 田原神社(名古屋駅前)9:00 10:00 13:00(昼食) 15:00

⇒ 栄 ⇒ 名古屋駅
17:00

集合 8:45(時間厳守) 名古屋駅前「ホテルキャッスルプラザ」 TEL 582-2121	集合 9:00(時間厳守) 名古屋金谷ホテル TEL 931-5811
出発 9:00	出発 9:10

☆ネームカードを携帯してください。

※お知らせ

[S-3] 建築コース①については、催行少人数に満たなかったため中止とさせていただきます。

Thursday, October 5 (full day)

(S-3) Architectural Tour 1: Designs Woven through History

- Visit a five-story pagoda designated as an Important Cultural Property and enjoy the Ennichi Temple Festival.
- Tour the natural excursion style Rinsen Garden and an open-style tea house with paper sliding doors on three walls.
- Tour a steep-roofed wooden house transferred from Shirakawa Village in Gifu prefecture. Learn about the architecture of regions known for their heavy snowfalls.
- Visit Hisaya Odori Park, designed around a TV Tower, and view fine examples of modern architecture such as the Aichi Arts Center and the NHK Broadcasting Center.

Tour Fee: ¥1,000

●Itinerary

09:00: Depart Hotel Castle Plaza
10:00: Yagoto Koshoji Pagoda
11:00: Tozanso
13:00: Lunch at the steep-roofed Gasshozukuri House in Higashiyama Park
16:00: Sakae

a. 08:15: Assemble at the Hotel Castle Plaza (please be punctual). Phone 582-2121
08:30: Departure

b. 08:30: Assemble at the Nagoya Kanaya Hotel. Phone 931-5811
08:40: Departure

☆Please bring your name card.

(S-4) Architectural Tour 2: Through the Ages...

Thursday, October 5 (full day)

- Tour an outdoor museum on a hillside featuring examples of restored historical architecture from Meiji period.
- The Momoyama-style castle donjon of Inuyama Castle, the oldest of its kind, is designated as a national treasure.
- The Jyoan, a national treasure, is a tea room that accommodates only three people.
- The shrine is famous for a festival in which a gigantic wooden male fertility symbol is dedicated as a god of good harvest and fertility.

Tour Fee: ¥2,000

●Itinerary

09:00: Depart Hotel Castle Plaza
10:00: Meiji-mura Museum
13:00: Lunch at Yurakuen (Jyoan)
15:30: Inuyama Castle, Tagata Shrine
17:00: Sakae, Nagoya Station

a. 08:45: Assemble at the Hotel Castle Plaza (please be punctual). Phone 582-2121
09:00: Departure

b. 09:00: Assemble at the Nagoya Kanaya Hotel. Phone 931-5811
09:10: Departure

☆Please bring your name card.

Notice: (S-3) Architectural Tour 1 has been canceled because of lack of the applicants.

10/6日金

[S-5] 伝統コース〈時と共にその深さを感じる…〉半日コース〈参加費¥1,000ー〉

※当地の伝統ある有松・鳴海絞りの紹介、製造工程の実演見学

※江戸時代から“からくり人形”の山車、明治時代の商家見学

※伝統美を現代手法で引き出した斬新なデザインの庭園鑑賞

◎コース

国際会議場 ⇒ 有松・鳴海絞会館 ⇒ 有松山車会館 ⇒ 竹田邸

10:00 11:00～(昼食)

⇒ 白鳥庭園 ⇒ 国際会議場フェアウェルパーティ

14:00 15:30

集合 9:45 名古屋国際会議場正面玄関(時間厳守)

出発 10:00

☆ネームカードを携帯してください。

Friday, October 6 (half-day)

(S-5) Traditional Tour: Experiencing the Depth of History...

- Visit the time-honored Arimatsu-Narumi Shibori production facility for a demonstration and introduction to the production process.
- View dashi, or floats with karakuri mechanical dolls dating to the Edo period, and visit shops from the Meiji period.
- Enjoy a Japanese garden with a novel design in which traditional beauty is presented with modern techniques.

Tour Fee: ¥1,000

●Itinerary

10:00: Depart Congress Center

11:00: Arimatsu-Narumi Shibori (tie-dyeing), Lunch at Kaikan, Arimatsu Dashi Float Hall, Traditional House of Takeda

14:00: Shirotori Garden

15:30: Nagoya Congress Center for Farewell Party

※Additional fee necessary for the Farewell Party

09:45: Assemble at the entrance hall of the Nagoya Congress Center (please be punctual).

10:00: Departure

☆Please bring your name card.

ホテルキャッスルプラザ Hotel Castle Plaza

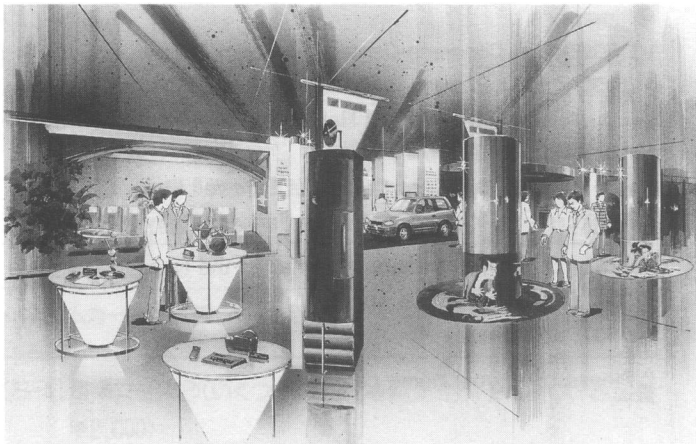


名古屋金谷ホテル Nagoya Kanaya Hotel



会 期 平成7年10月4日(水)～8日(日)
10:00～17:00(最終日は16:00まで)

- ◆グローバルインテリア (イベントホール) 10/4～8
現在から近未来の居住空間・情報空間などのインテリアのシーンを想定し次世代へ提案
インテリア関連の有力企業19社が参加



- ◆ジャパンインテリア (白鳥ホール) 10/4～8
「日本の心」「日本の伝統」「日本の歴史」「日本の人物」の4つのゾーンで構成
紙、布、木をイサム・ノグチのAKARIで象徴的に表現
明治から現代までの日本の椅子108脚展示

- ◆インテリアデザイン工房 (1号館2F) 10/7・8
ダンボール、ハーブ、木などでインテリア小物を作る

- ◆花の回廊 (1号館2F) 10/4～6
生け花の四流派(池坊、石田流、小原流、草月流)の家元らによる生け花オブジェの競演

- ◆名古屋国際デザインコンペティション優秀作品展 (2号館1F) 10/4～8
優秀作品32点を模型及びパネルで展示
私たちの身の回りには具体化されていない環境や福祉などをテーマとした作品を展示

- ◆会議参加者パネル展 (2号館1F) 10/4～8

- ◆アイルランドパネル展 (センチュリーホール) 10/4～6

- ◆韓国パネル展 (センチュリーホール) 10/4～6

INTERNATIONAL INTERIOR DESIGN FAIR

DATES:October 4th (Wed)～8th (Sun), 1995
TIME:10:00～17:00 (Close time on the last day is 16:00)

GLOBAL INTERIOR DESIGN EXHIBITION — at Event Hall
Oct.4～8

Exhibition of present and future interiors for living spaces, information spaces, etc.
19 leading companies in Japan will participate. Exhibiting their most recently developed products and those still in development process, they will make proposals for the next generation regarding interiors.

JAPAN INTERIOR DESIGN EXHIBITION — at Shirotori Hall
Oct.4～8

The hall will be divided into 4 zones: Heart of Japan, Tradition of Japan, History of Japan and people of Japan(including who mixed Japanese and western cultures). Japan will be presented from various points of view.
Paper, fabrics and wood will be shown symbolically by Isamu Noguchi's work "AKARI". 108 Japanese chairs from the Meiji period to the present will also be exhibited.

INTERIOR DESIGN CRAFT HOUSE — Building No.1, 2nd floor
Oct.7・8

You will have the opportunity to make your own interior goods from cardboard, herb or wood.

FLOWER CORRIDOR — Building No.1, 2nd floor Oct.4.～6
4 schools of "IKEBANA" (Japanese flower arrangement): Ikenobo, Ishida, Ohara and Sogetsu will exhibit their flower works/objects.

WINNING WORKS EXHIBITION OF NAGOYA INTERNATIONAL DESIGN COMPETITION — Building No.2, 1st floor Oct.4～8
32 miniatures and panels of winning works from the Nagoya International Design Competition.
The subject is as-yet unrealized interiors for our future environment and well-being.

PANEL EXHIBITION OF CONGRESS REGISTRANTS
— Building No.2, 1st floor Oct.4～8

IRELAND PANEL EXHIBITION — at Century Hall Oct.4～6

KOREA PANEL EXHIBITION — at Century Hall Oct.4～6

◆フェア参加企画 (会場内)

- 世界のインテリアデザイナー作品集パネル展示 (2号館1F)
 (日本インテリアデザイナー協会) 10/4~8
- IFI'95 NAGOYA:NEXT WAVE ポスター展 (2号館1F)
 (中部クリエイターズクラブ) 10/4~8
- 戦後の中部の代表的なデザインプロダクト (2号館1F)
 (デザイン・名古屋開催委員会) 10/4~8
- JARA アーキテクチャー イン パースペクティブ (2号館2F)
 (日本アーキテクチャラル・レンダラーズ協会) 10/4~8
- 万国博覧会ポスター展 (2号館2F)
 (万国博覧会誘致委員会) 10/4~8
- 百人一首一木のオブジェ展 (2号館2F)
 (中部インテリアプランナー協会) 10/4~8
- 新しいガラスのうねり (2号館2F)
 (東海ガラス研究会) 10/4~8
- ワールド絞りネットワーク—絞りの新風景— (2号館2F)
 (ワールド絞りネットワーク) 10/4~8
- マルチメディア インフォメーション システム (会場内5カ所)
 (GROUP MTS) 10/4~8
- 相阿弥流いけばな展 (2・3号館3F)
 (相阿弥流) 10/2~6
- 花道真統正流いけばな展 (2・3号館3F)
 (花道真統正流) 10/2~6

◆特別関連事業 (オアシス広場)

- インスタレーション展示 10/4~8
 市民・学生フォーラム 10/5
 コミュニケーションパーティ 10/5
 (学生部会)

◆同時開催

- 日本に残るライト展 (2号館2F)
 (新日本建築家協会) 10/3~8

◆フェア参加企画 (会場外)

- 市民団体・デザイン団体によって会場外で「インテリアデザイン」をテーマに16のイベントを実施 (詳細は「Walking in Nagoya」参照)

PARTICIPATING EXHIBITIONS IN THE FAIR (at Congress Center)

- PANEL EXHIBITION OF INTERIOR DESIGNERS' WORKS IN THE WORLD** (Japan Interior Designers' Association) — Building No.2, 1st floor Oct.4~8
- POSTER EXHIBITION FOR IFI '95 NAGOYA:NEXT WAVE** (Chubu Creators' Club) — Building No.2, 1st floor Oct.4~8
- MAJOR DESIGN PRODUCTS IN THE CHUBU AREA AFTER THE WORLD WAR II** (Design Nagoya Organizing Committee) — Building No.2, 1st floor Oct.4~8
- ARCHITECTURE IN PERSPECTIVE** (Japan Architectural Renderers Association) — Building No.2, 2nd floor Oct.4~8
- POSTER EXHIBITION FOR EXPO. 2005 AICHI** (Aichi World Exposition Promotion Committee) — Building No.2, 2nd floor Oct.4~8
- WOODEN WORKS OF "HYAKUNIN ISSYU"** (100 Japanese Traditional Cards) (Chubu Interior Planners Association) — Building No.2, 2nd floor Oct.4~8
- GLASS WONDER LAND** (The Tokai Glass Research Association) — Building No.2, 2nd floor Oct.4~8
- WORLD SHIBORI NETWORKS — NEW SCENE OF "SHIBORI"** (Japanese tie-dyeing) (World Shibori Networks) — Building No.2, 2nd floor Oct.4~8
- MULTIMEDIA INFORMATION SYSTEM (GROUP MTS)** — 5 spots in the Congress Center Oct.4~8
- "IKEBANA" FLOWER ARRANGEMENT EXHIBITION** (Ikebana Soami-ryu) — Building No.2 & 3, 3rd floor Oct.2~6
- "IKEBANA" FLOWER ARRANGEMENT EXHIBITION** (Ikebana Kadoshintosei-ryu) — Building No.2 & 3, 3rd, floor Oct.2~6

SPECIAL RELATED PROJECTS (Student Association)

- Oasis Square
- EXHIBIT "INSTALLATION"** Oct.4~8
- DESIGN FORUM** Oct.5
- RECEPTION** Oct.5

SIMULTANEOUS EXHIBITION

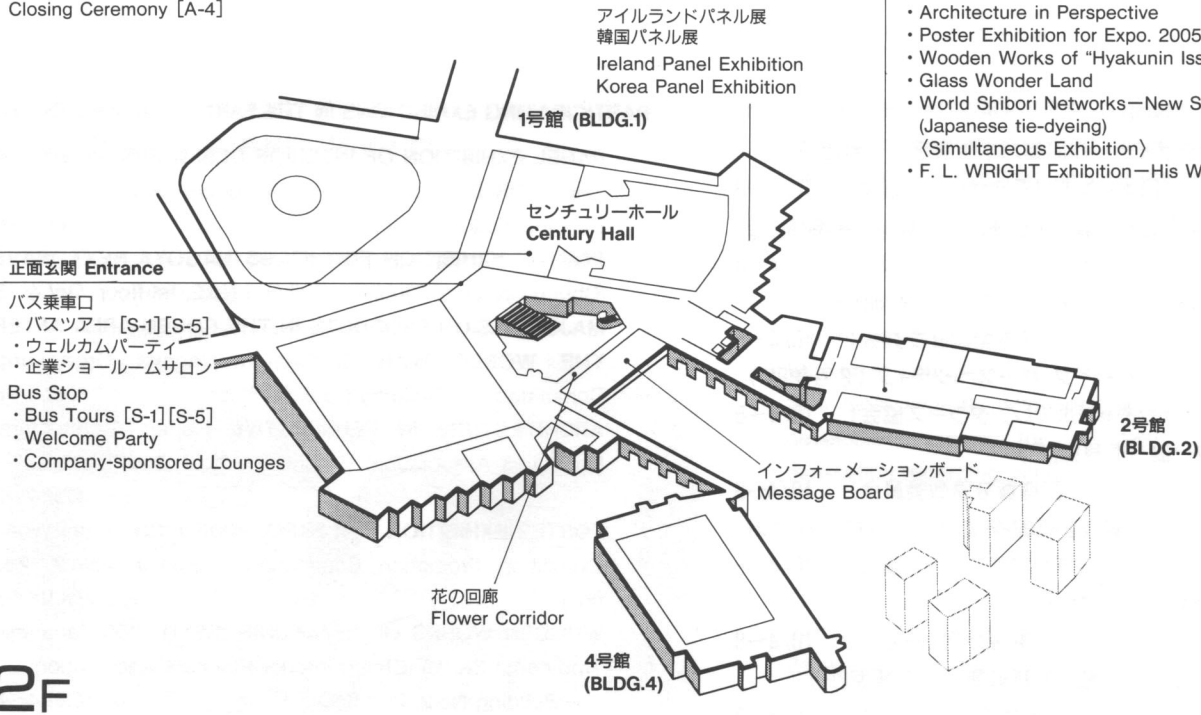
- F.L.WRIGHT EXHIBITION** — His works in Japan — (Japan Institute of Architects, Tokai Branch) — Building No.2, 2nd floor Oct.3~8

PARTICIPATING EXHIBITIONS IN THE FAIR

- outside the Congress Center
- 16 events whose theme is "Interior Design" are to be held outside the Congress Center with the assistance of public organizations and design organizations.
 (For detailed information, please refer the 'walking in Nagoya' leaflet)

- 開会式・基調講演 [A-1]
- コンペ表彰式
- 記念シンポジウム [A-2]
- 全体会 [A-3]
- 閉会式 [A-4]
- Opening Ceremony [A-1]
- Keynote Speech [A-1]
- Commemorative Symposium [A-2]
- Plenary Session [A-3]
- Closing Ceremony [A-4]

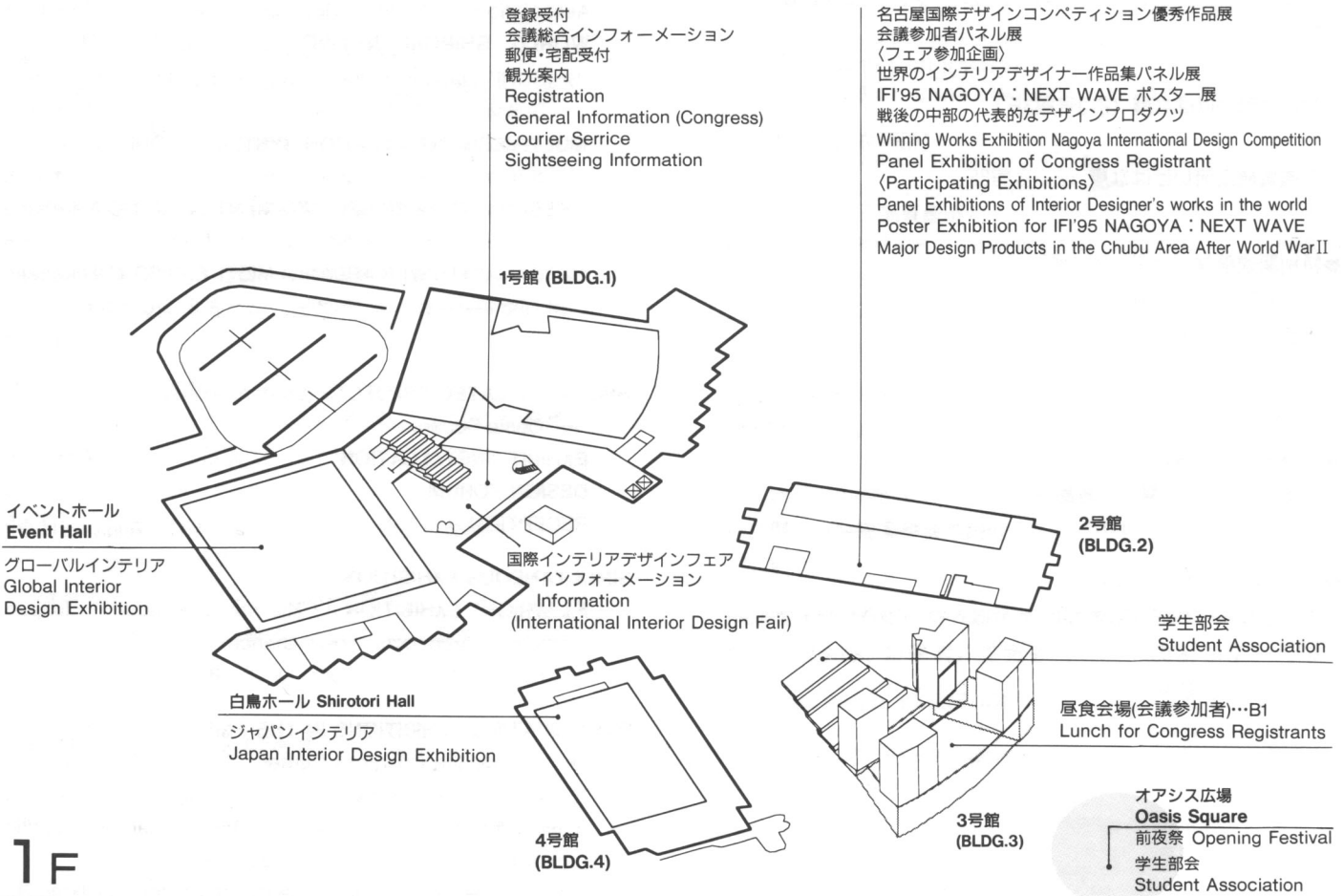
- 〈フェア参加企画〉
- JARAアーキテクチャー イン パースペクティブ
- 万国博覧会ポスター展
- 百人一首一木のオブジェ展
- 新しいガラスのうねり
- ワールド絞りネットワーク 絞りの新風景
- 〈同時開催〉
- 日本に残るライト展
- 〈Participating Exhibition〉
- Architecture in Perspective
- Poster Exhibition for Expo. 2005 AICHI
- Wooden Works of "Hyakunin Issyu"
- Glass Wonder Land
- World Shibori Networks—New Scene of "Shibori" (Japanese tie-dyeing)
- 〈Simultaneous Exhibition〉
- F. L. WRIGHT Exhibition—His Works in Japan—



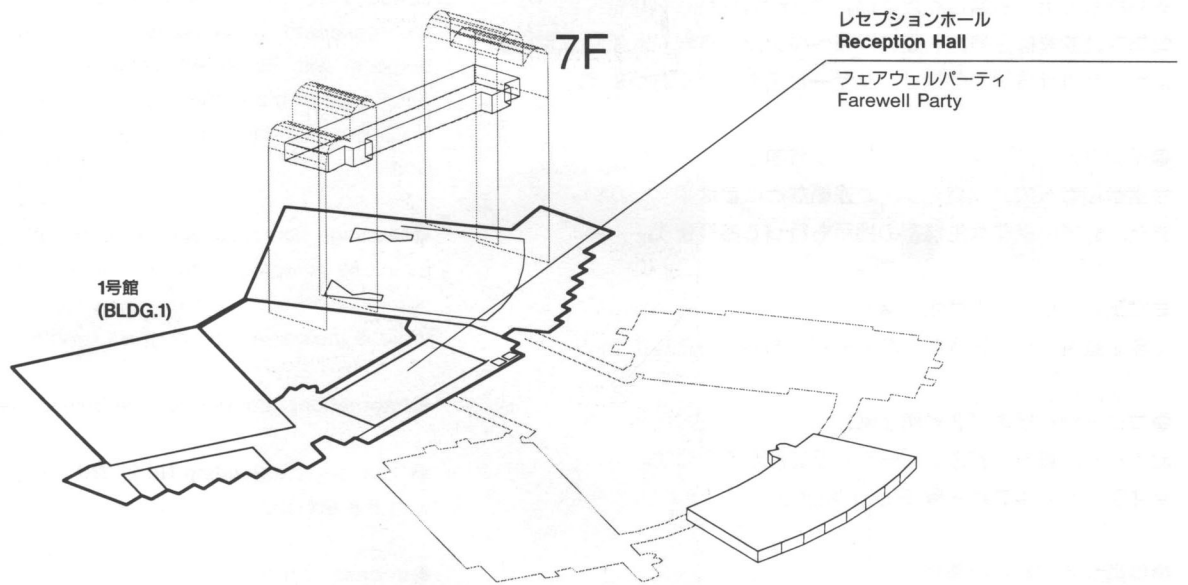
2F

- 登録受付
- 会議総合インフォメーション
- 郵便・宅配受付
- 観光案内
- Registration
- General Information (Congress)
- Courier Service
- Sightseeing Information

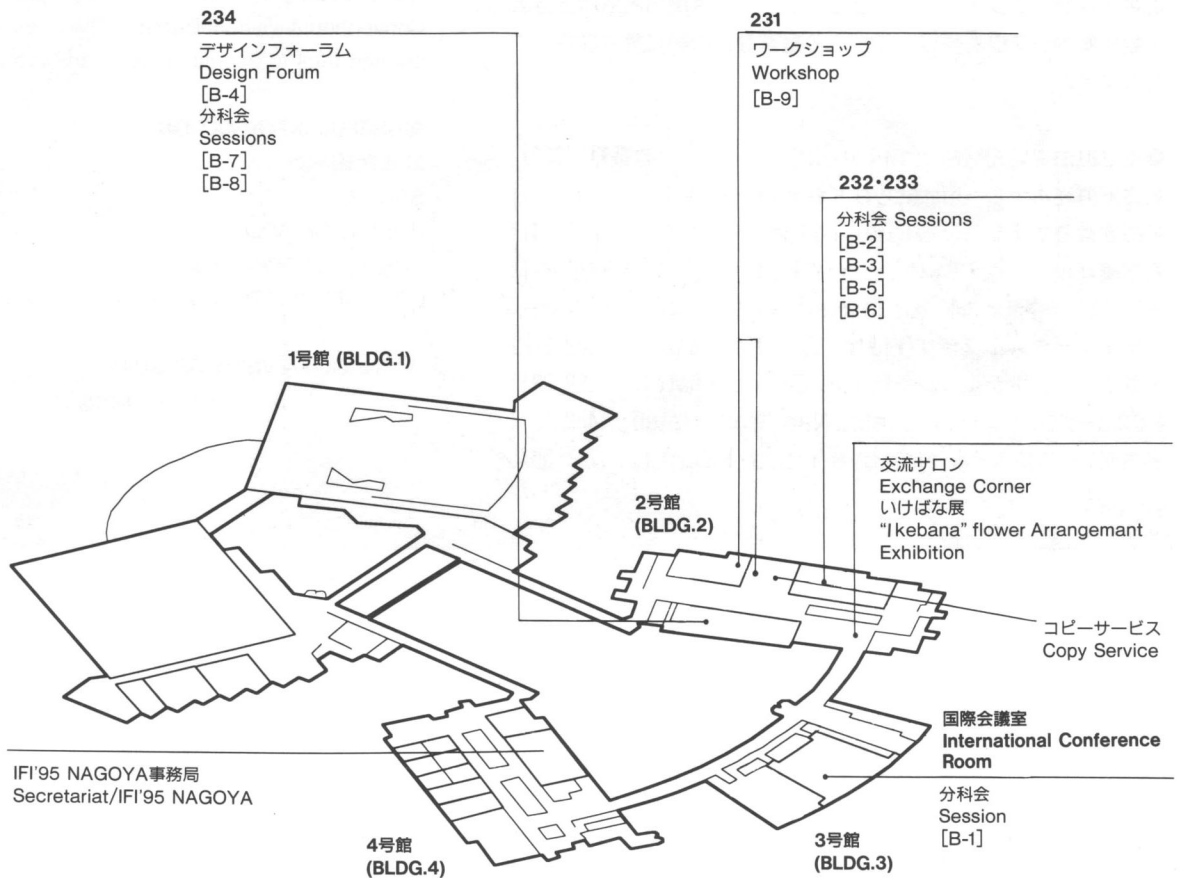
- 名古屋国際デザインコンペティション優秀作品展
- 会議参加者パネル展
- 〈フェア参加企画〉
- 世界のインテリアデザイナー作品集パネル展
- IFI'95 NAGOYA : NEXT WAVE ポスター展
- 戦後の中部の代表的なデザインプロダクト
- Winning Works Exhibition Nagoya International Design Competition
- Panel Exhibition of Congress Registrant
- 〈Participating Exhibitions〉
- Panel Exhibitions of Interior Designer's works in the world
- Poster Exhibition for IFI'95 NAGOYA : NEXT WAVE
- Major Design Products in the Chubu Area After World War II



1F



4F



3F

●**昼食・軽食**

昼食会場は3号館地下1階です。昼食券（コングレスバッグ内）をお持ちの上、お越しください。（同伴者登録者は有料）簡単なご飲食は2号館2階の喫茶ラウンジ（有料）が便利です。また、交流サロンではドリンクサービスを行っております。

●**インフォメーションボード（1号館2階）**

会議参加者へのメッセージ・ご連絡などにご活用ください。また、会議の様々な生情報の掲示も行っております。

●**宅配サービス（1号館1階）**

国際会議場より世界各地へお手荷物をお届けいたします。

●**コピーサービス（2号館3階）**

お手持ちの資料などのコピーを行うことができます。
※オフィシャルコピー機-Fuji Xerox

●**体調がすぐれない場合**

お近くのインフォメーションデスクまでお越しください。

●**観光案内（1号館1階）**

（財）名古屋観光コンベンションビューローが名古屋市内各所と近郊の観光案内デスクを設け、見どころ豊富な秋の観光案内を行っております。

●**主な宿泊連絡先（Main Hotels）**

☎番号（052）

名古屋観光ホテル（Nagoya Kanko Hotel）	231-7711
名古屋東急ホテル（Nagoya Tokyu Hotel）	251-2411
名古屋ヒルトンホテル（Nagoya Hilton）	212-1111
ホテルナゴヤキャッスル（Hotel Nagoya Castle）	521-2121
ホテルキャッスルプラザ（Hotel Castle Plaza）	582-2121
名鉄グランドホテル（Meitetsu Grand Hotel）	582-2211
名鉄ニューグランドホテル（Meitetsu New Grand Hotel）	452-5511
名古屋ユースホステル（Nagoya Youth Hostel）	781-9845

●**Lunch & snacks**

Restaurants are on floor B1 of Building No.3. Please present the lunch coupons provided inside your congress bag.(These coupons are for registered participants only ; meals for accompanying persons will be billed separately.) Light snacks may be purchased at the coffee lounge on the second floor of Building No.2. Complimentary beverages are provided at the Exchange Corner.

●**Message board(Building No.1, 2nd floor)**

Everyone is welcome to use this board for messages to other participants. Various messages on congress events will also be posted.

●**International courier service(Building No.1, 1st floor)**

●**Copy service(Building No.2, 3rd floor)**

with the assistance of Fuji Xerox Co., Ltd.

●**In case of illness...**

Please come to the nearest information desk if you feel ill.

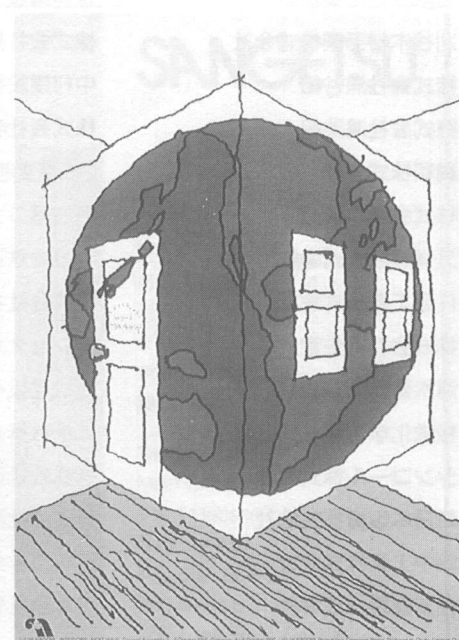
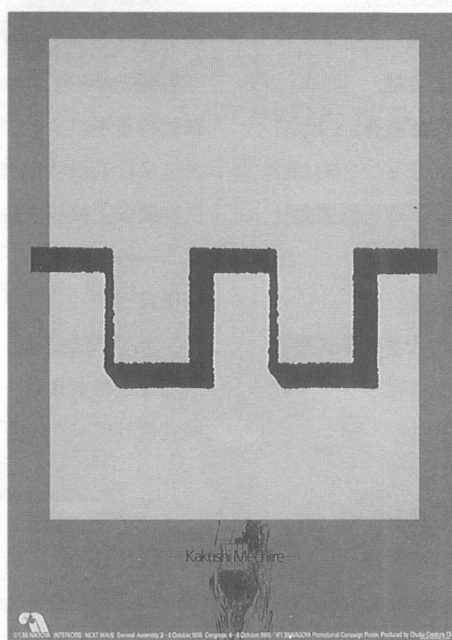
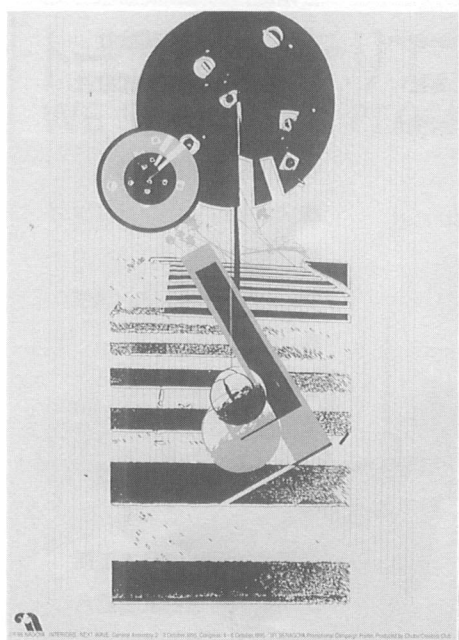
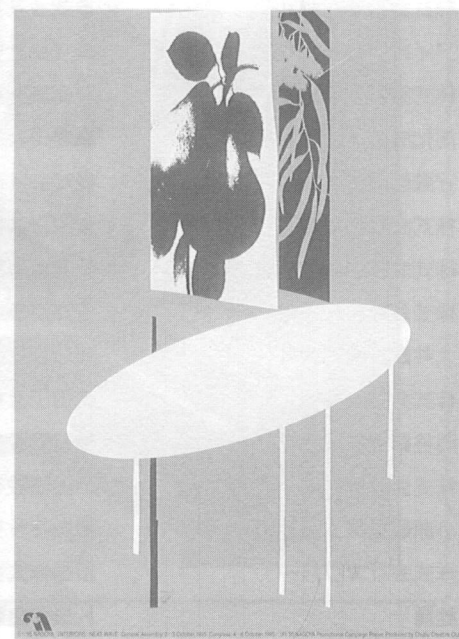
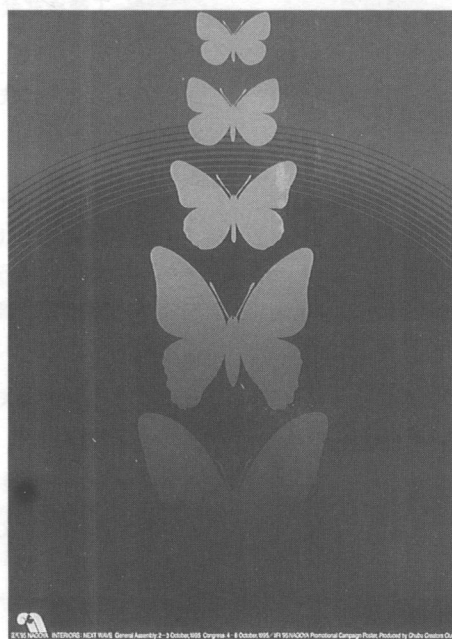
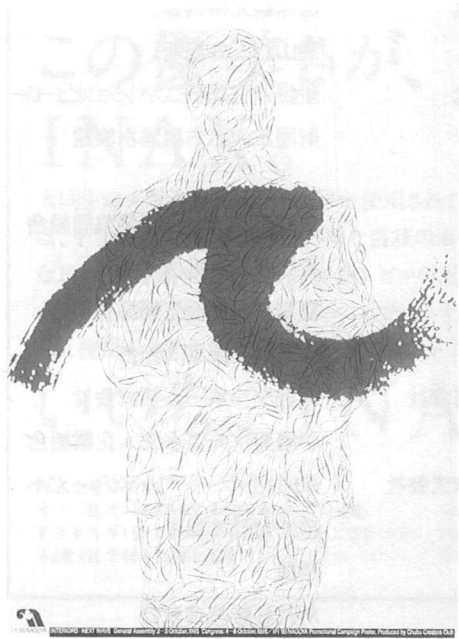
●**Sightseeing information(Building No.1, 1st floor)**

A sightseeing information desk has been set up by the Nagoya Convention & Visitors Bureau. The desk provides information on autumn trips to scenic spots in and around Nagoya.

●**USEFUL INFORMATION**

EMERGENCY
BANKS
POSTAL SERVICE
PUBLIC TELEPHONES
CITY INFORMATION and others...

→ “NAGOYA VISITORS GUIDE”
is very useful.



IFI '95 NAGOYA Promotional Campaign Poster

●特別協賛

株式会社INAX
株式会社サンゲツ

●協賛

アイシン精機株式会社
愛知株式会社
株式会社愛知銀行
アイホン株式会社
株式会社浅沼組
旭化成ホームズ株式会社
安藤建設株式会社
株式会社石田組
株式会社伊藤工務店
株式会社イトーキ
大井建設株式会社
株式会社大林組
岡谷鋼機株式会社
株式会社奥村組
小原建設株式会社
株式会社オリバー
鹿島
有限会社柏彌紙店
刈谷木材工業株式会社
株式会社熊谷組
株式会社鴻池組
興和株式会社
株式会社コスガ
五洋建設株式会社
佐藤工業株式会社
株式会社資生堂
清水建設株式会社
松栄化学工業株式会社
シンコール株式会社
新日本製鐵株式会社
鈴中工業株式会社
住友建設株式会社
セキスイインテリア株式会社
積水ハウス株式会社
株式会社銭高組
セントラル画材株式会社
大栄住宅株式会社
太啓建設株式会社
大成建設株式会社
大日本土木株式会社
大和ハウス工業株式会社

瀧定株式会社
タキヒヨー株式会社
株式会社竹中工務店
中電工事株式会社
中部電力株式会社
鉄建建設株式会社
株式会社天童木工
株式会社トーエネック
株式会社東海銀行
東海旅客鉄道株式会社
東急建設株式会社
株式会社東京松屋
東邦ガス株式会社
東陽倉庫株式会社
東洋プライウッド株式会社
東リ株式会社
遠山工芸株式会社
徳倉建設株式会社
戸田建設株式会社
飛鳥建設株式会社
豊島株式会社
トヨタ自動車株式会社
豊橋建設工業株式会社
株式会社長瀬組
中村建設株式会社
株式会社名古屋銀行
名古屋空港ビルディング株式会社
名古屋コンテナ埠頭株式会社
名古屋鉄道株式会社
株式会社名古屋三越
ナショナル住宅産業株式会社
西松建設株式会社
ニチ八株式会社
株式会社日建設計
株式会社日東建設
日本ガイシ株式会社
日本額縁株式会社
日本航空株式会社
日本国土開発株式会社
日本車輛製造株式会社
株式会社日本設計
日本電気株式会社
日本電信電話株式会社
日本電装株式会社
日本電話施設株式会社
日本特殊陶業株式会社

株式会社ノリタケカンパニーリミテド
株式会社間組
長谷虎紡績株式会社
株式会社日立製作所
株式会社ヒメノ
株式会社フジタ
不動建設株式会社
ブラザー工業株式会社
株式会社ホウトク
前田建設工業株式会社
株式会社マキタ
株式会社松坂屋
松下電工株式会社
株式会社松田平田
株式会社松村組
株式会社丸栄
ミサワホーム東海株式会社
三井建設株式会社
三井デザインテック株式会社
三井ホーム株式会社
三菱電機株式会社
名工建設株式会社
名鉄運輸株式会社
株式会社名鉄エージェンシー
名鉄観光サービス株式会社
株式会社名鉄グランドホテル
株式会社名鉄百貨店
矢作建設工業株式会社
ユニー株式会社
吉田善三郎
リンナイ株式会社
六合建設株式会社
株式会社ワーロン

●協力

江南市
高山市
名古屋港管理組合

社団法人愛知県木材組合連合会
社団法人インテリア産業協会
国際観光振興会
高山商工会議所
財団法人名古屋観光コンベンションビューロー
財団法人名古屋港水族館

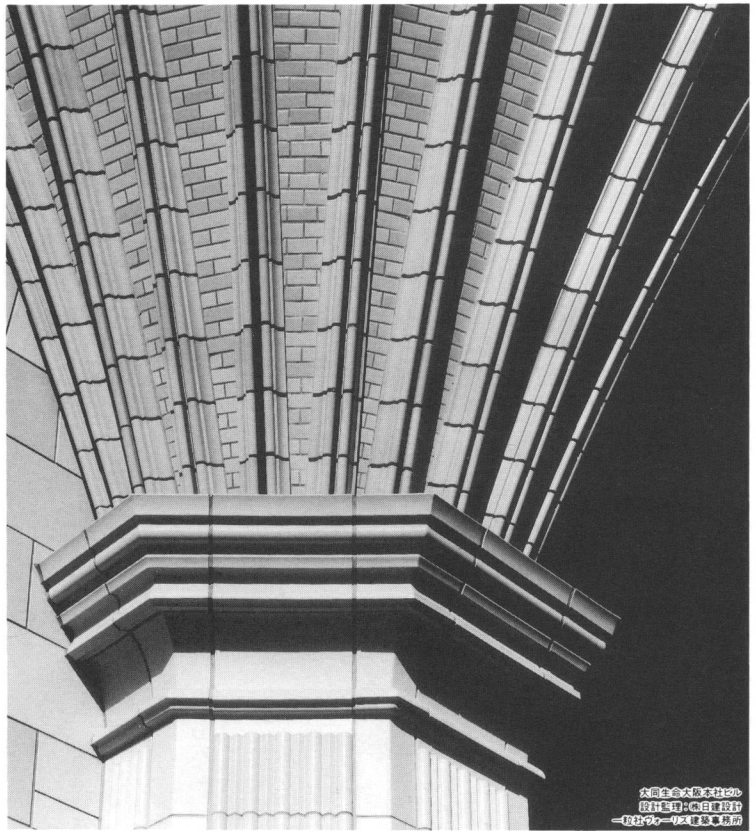
愛知県室内装飾事業協同組合
愛知県建具組合連合会
愛知県陶磁器工業協同組合
赤津焼工業協同組合
浅野ダンボール株式会社
伊勢湾水先区水先人企業組合
株式会社イメージアンドメジャーメント
株式会社オセキ
唐長
刈谷紙器株式会社
江南織物卸商協同組合
キリンビール株式会社
ジェイティ飲料株式会社
鈴権毛織株式会社
株式会社西武百貨店
株式会社祖父江ジャパン
株式会社竹尾
中京コカコーラボトリング株式会社
株式会社T〇〇
とこなめ焼協同組合
名古屋熱田ライオンズクラブ
日本コダック株式会社
株式会社畠山銘木店
有限会社菱川建具木工所
尾州絹化繊維物協同組合
協同組合飛驒木工連合会
富士ゼロックス株式会社
株式会社ポッカコーポレーション
株式会社三重エスカルゴ開発研究所
三河織物工業協同組合
三河繊維産元協同組合
宮政瓦工業株式会社
盛田株式会社
ヤマギワ株式会社



そうです。
この優美さが、
INAX。

大同生命大阪本社ビル。このビルで使用されているテラコッタは、平物の他に、化粧陶板、特殊な袋状の水切、窓台役物など、その種類は実に1200形状。ビルの足元から、頂部までを優美な曲線と直線で包みこんでいます。環境美の創造と提供をめざすINAXの一つの成果がここにあります。

いいな、INAX。



大同生命大阪本社ビル
化粧陶板・水切・窓台役物
一貫生産・一年保証

株式会社 INAX

本社 〒479 愛知県常滑市鯉江本町5丁目1番地 Tel.0569-35-2700
東京本部 〒160 東京都新宿区西新宿1丁目6番1号 新宿エルタワー Tel.03-3343-1700
名古屋支社 〒460 名古屋市中区錦1丁目16番20号 グリーンビルディング Tel.052-201-1717

トータルインテリアで人を包みます。
WE SURROUND PEOPLE WITH A TOTAL INTERIOR



サンゲツは、人の暮らしをやさしく美しく包む、壁紙、カーテン、床材などの商品を創りつづけています。その仕事は、ただ「モノ」を創ることだけでなく、そこから快適な暮らしや、幸せな気持ちを生み出すことに他なりません。

SANGETSU has been creating wallpaper, curtains, flooring, and other products that gently and beautifully encircle people's lives. Our work is not only to make mere "things," but also to provide comfortable lifestyles and feelings of contentment.

SANGETSU

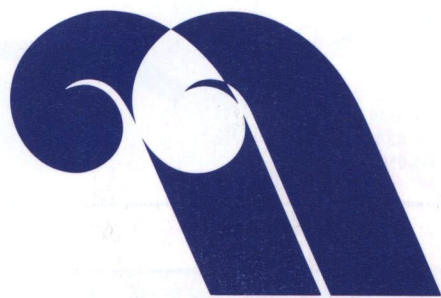
株式会社サンゲツ

名古屋市西区幅下1-4-1
TEL.052-564-3111
ショールーム
東京・名古屋・大阪・
岡山・広島・福岡

Sangetu Co.,Ltd.
Main Office
1-4-1 Habasita, Nishi-ku,
Nagoya, 451
TEL.052-564-3111
Showrooms
Tokyo, Nagoya, Osaka,
Fukuoka, Okayama, Hiroshima

人と部屋の間に。





IFI '95 NAGOYA

